

### Ⅲ 調査票一式

### Ⅲ-1 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬、処理・処分実績報告書 一式

様式-業A

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の収集運搬、処理・処分実績報告書

平成 年 月 日

報告者の住所

報告者の氏名

電話番号

平成20年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理・処分実績(運搬実績)について、次のとおり報告します。

I 事業概要の表			
業者名	氏名又は名称		
	住所		
	代表者氏名		
事業所	電話番号	資本金	千円
	名称		
	所在地		
	電話番号	従業者数	人
事業内容			

II 事業概要の表(処分業者用)			
許可取得の状況	許可の区分	許可年月日	許可番号
	産業廃棄物処分業	年月日	
	特別管理産業廃棄物処分業	年月日	
処理(管理)責任者	福島県における一般廃棄物処理業の許可の有無	1:有り 0:無し	有りの場合 市町村名( ) 許可の区分( )
	産業廃棄物特別管理産業廃棄物		
平成20年度の処分実績	中間処理実績の有無	1:有り 0:無し	最終処分実績の有無 1:有り 0:無し
	平成20年度の保管状況(処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物)	保管実績の有無	1:有り 0:無し

III 事業概要の表(収集運搬業用)				
収集運搬業の許可取得の有無	許可番号	平成20年度の収集運搬実績の有無	うち県外への搬出	
	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物		
福島県	1:有り 0:無し		1:有り 0:無し	1:有り 0:無し
郡山市	1:有り 0:無し		1:有り 0:無し	1:有り 0:無し
いわき市	1:有り 0:無し		1:有り 0:無し	1:有り 0:無し

記入者部課・氏名 所属 氏名

IV:報告書チェック欄	業B	業C	業D	業E
報告する様式の有無	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し

様式-業B

保管・中間処理・最終状況の概要表 - 中間処理・最終処分業 -

平成20年度実績

業者名

(1)処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量	番号	産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量
01		t	05			t
02		t	06			t
03		t	07			t
04		t	08			t
00 合 計						0 t

(※)「産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入する。

(2)中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21					/日 1:有り 0:無し		
B22					/日 1:有り 0:無し		
B23					/日 1:有り 0:無し		
B24					/日 1:有り 0:無し		
B25					/日 1:有り 0:無し		
B26					/日 1:有り 0:無し		
B27					/日 1:有り 0:無し		

(3)最終処分場の状況

施設番号	B01	B02	B03
処分場の名称			
処分場の所在地			
処分場の種類	1:管理型 2:安定型 3:遮断型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型
許可等の有無	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し
設置許可等年月日	年月日	年月日	年月日
処分場面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立地面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立容量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成20年度の埋立量の計	0 t	0 t	0 t
自社発生物の埋立量	t	t	t
委託による直接埋立量	t	t	t
委託廃棄物の自社中間処理後の埋立量	t	t	t
平成20年度の覆土量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成20年度末の残余容量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定残余容量	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定した年月日	年月日	年月日	年月日
技術管理者名			
備考			

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理施設における処分実績 - 中間処理・最終処分業 -

平成20年度実績

業者名

産業廃棄物処理施設の種類		処理欄 自社の区分	処理した廃棄物と年間処理量			処理後の廃棄物と量			処理後の廃棄物の再生・処分状況								
名称	施設番号 (様式9の番号)		種類(※1)	処理量	単位	処理後の種類(※1)	処理量	単位	自社で再中間処理・再生・埋立			委託先				備考	
									処理(処分)方法 再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	委託先名称	委託先所在地(※2)	方法・(用途) 再生利用の場合は、具体的な用途	量		単位
C1		01															
		02															
		03															
		04															
		05															
C2		06															
		07															
		08															
		09															
		10															
C3		11															
		12															
		13															
		14															
		15															
C4		16															
		17															
		18															
		19															
		20															
C5		21															
		22															
		23															
		24															
		25															

(※1)「種類」「処理後の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

(※2)「委託先所在地」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処分実績 - 中間処理・最終処分業 -

平成20年度実績

業者名

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類(※1)	委託者(排出事業者又は処分業者)						自社での処分方法			処分により生じた廃棄物の他社等での処分		
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所(※2、※3)	受託量	単位	処分方法	施設番号 (様式Bの番号)	処分場所(※3)	氏名又は名称	住所(※3)	処分内容
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													

(※1)「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

(※2)委託者の「住所」は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた事業所等の所在地又は建設工事等にあつてはその現場の所在地を記入してください。

(※3)「住所」「処分場所」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の福島県外への運搬実績 - 収集運搬業 -

平成20年度実績

業者名

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類(※1)	委託者(排出事業者又は処分業者)						運搬先及び運搬先の処分				
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所(※2、※3)	受託量	単位	許可番号	氏名又は名称	住所(※3)	処分方法 (最終的な処分方法まで)	備考
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

(※1)「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

(※2)委託者の「住所」は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた福島県内の事業所等の所在地又は建設工事等によってはその現場の所在地を記入してください。

(※3)「住所」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

## 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬、処理・処分実績報告書

## 記入手引き

この冊子には、記入要領、記入例、廃棄物の分類表、産業廃棄物処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表などの報告書作成に係る資料が記載されています。

I 同封された書類について	1頁
II 作成・提出方法	1頁
III 記入要領	3頁
IV 記入例	7頁
V その他(廃棄物の分類表、処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表)	13頁

## I 同封された書類について

以下の6点の書類が同封されています。確認してください。

- (1) 依頼文
- (2) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬、処理・処分実績報告書
- (3) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬、処理・処分実績報告書  
記入手引き【本書類】
- (4) 廃棄物等に係る意識調査票【例年の報告内容に追加された調査票です】
- (5) 返信用封筒
- (6) 産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度パンフレット

## II 作成・提出方法

(1) 報告書の作成(電子ファイルによる作成・提出が可能です。ご利用ください。)

同封された「産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の収集運搬、処理・処分実績報告書」、  
「廃棄物等に係る意識調査票」は、福島県及び(財)日本環境衛生センターのホームページからダウンロードでき、電子メールによる提出もできます。なお、同封された報告書、  
調査票を用いて記入後、同封の返信封筒にて郵送又はファクシミリにて送信していただいても構いません。

## ■報告書の電子ファイルの入手方法

〔福島県のホームページからのダウンロード〕

<http://www.pref.fukushima.jp/recycle/21jittai/yousiki.htm>

〔(財)日本環境衛生センターホームページからのダウンロード〕

<http://www.jesc.or.jp/info/hik/yousiki.html>

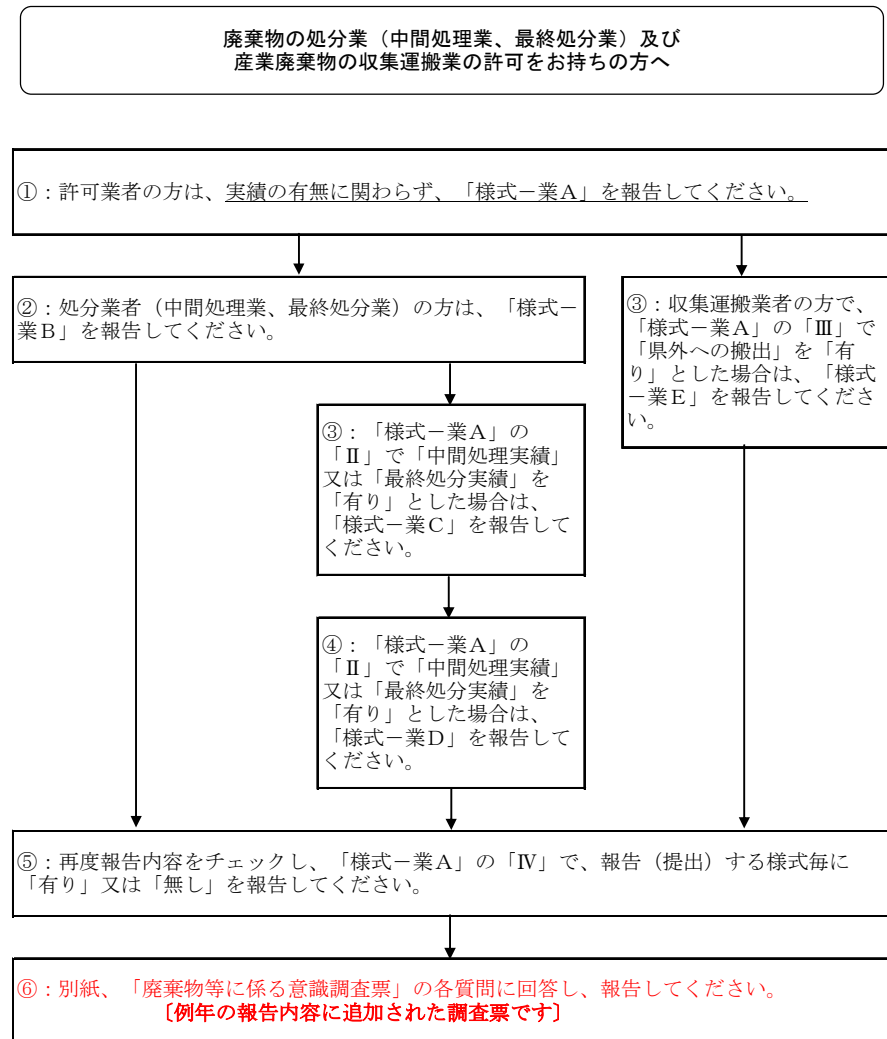
## ■報告書の電子メールによる提出方法

電子メール: hik-r@jesc.or.jp ※件名には、「福島県報告書」と明記してください。

※郵送される方でも、報告書の枚数が多い場合は、できる限りFD、CD等、電子データでの提出をお願いします。

■FAX番号: 044-287-3255

## (2) 報告書の記入の流れ



### Ⅲ 記入要領

#### (処理業者用) 実績報告書等の記入要領

(「Ⅳ 記入例」を参考にして記入方法を確認してください。)

#### 1. 提出の対象者

福島県、郡山市、いわき市において、当該年度に産業廃棄物の処分業及び収集運搬業の許可をお持ちのすべての方が対象です。

処理実績がない場合も、対象となります。

#### 2. 報告書の概略

提出していただく報告書の概略は、以下のとおりです。(許可及び実績状況により異なります。)

様式	提出条件	内容
業A	すべての方	許可内容、実績有無等
業B	施設有り	保管状況、中間処理施設・最終処分場の設置状況(処分業)
業C	実績有り	中間処理施設、最終処分場における処分実績(処分業)
業D	実績有り	同上
業E	実績有り	福島県内から県外への運搬実績のある方(収集運搬業)

#### 3. 報告書の記入要領

##### ●様式-業A

平成21年3月31日現在における貴社の状況について記入してください。

##### 「Ⅰ 事業概要の表」

- 1 報告書の提出を行う業者名、事業所の内容について、項目に従って記入してください。
- 2 氏名又は名称、住所、代表者氏名及び電話番号は、現在のものを記入してください。
- 3 資本金は、千円単位で記入してください。
- 4 従業員数は、産業廃棄物処理業に係る事業場における従業員(臨時職員等を含む。)数を記入してください。

##### 「Ⅱ 事業概要の表(処分業者用)」

- 1 福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設、最終処分場を設置されている場合は、該当項目を記入してください。
- 2 許可の取得状況は、平成21年3月31日現在で取得している許可の年月日及び許可番号を記入してください。
- 3 一般廃棄物処理業の許可の有無については、「1:有り」又は「0:無し」を選択し、許

可を有している場合は、許可を得ている市町村名及び許可の区分(収集運搬、中間処理、最終処分の別)を記入してください

- 4 処理(管理)責任者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第6項に基づく産業廃棄物処理責任者を設置している場合はその氏名を、同法第12条の2第6項に基づく特別管理産業廃棄物管理責任者を設置している場合はその氏名を記入してください。
- 5 処分実績及び保管実績は、必ず「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。

##### 「Ⅲ 事業概要の表(収集運搬業用)」

- 1 福島県(郡山市、いわき市を含む)で収集運搬業の許可をお持ちの場合は、該当項目を記入してください。
- 2 許可番号は、平成21年3月31日現在で取得している許可番号を記入してください。
- 3 収集運搬実績及び県外への搬出実績は、必ず「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。

##### 「記入者部課・氏名」

- 1 この報告書の記入者の所属及び氏名を必ず記入してください。

##### 「Ⅳ 報告書チェック欄」

- 1 様式-業B～業Eによる報告について、下記により「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。  
なお、該当様式に報告する「実績がない」場合は、必ず「0:無し」を選択してください。ただし、電子ファイルで提出される方は、提出不用となる様式のシートを削除する必要はありません。

業B-福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設又は最終処分場を設置されている処分業者の方

業C-設置する中間処理施設及び最終処分場において、平成20年度中の処分実績がある処分業者の方

業D-同上

業E-平成20年度中に、県内から県外への運搬実績のある収集運搬業者の方

##### ●様式-業B

平成20年度における産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物に係る保管状況、中間処理施設の状況、最終処分場の状況を記入してください。

なお、電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式-業Bシートを追加してください。

設置許可等年月日	年月日
M\様式-業A/様式-業B/様式-業B-2/様式-業C/様式-業D/様式-業E/	

- 「(1) 処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況」
- 1 当該年度内に、処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物がある場合、該当項目を記入してください。
  - 2 産業廃棄物の種類は、**Vの分類表**の「分類名」と「コード」で記入してください。
  - 3 所在地は、実際の保管場所の市町村名を記入してください。(市町村名まで)

- 「(2) 中間処理施設の状況」
- 1 当該年度に、福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設を設置されている場合は、該当項目を記入してください。
  - 2 施設区分は、**Vの施設区分表**から施設区分コードを記入してください。
  - 3 処理能力は、能力(規模)と単位を欄を分けて記入してください。なお、基数又は時間は、備考欄に記入してください。

②中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理人名	備考
B21	0000000	△△△△△	11	200	m <sup>3</sup> /日	1:有り	0000 (8時間)
B22	◇◇◇◇◇◇	△△△△△	08	50	t/日	1:有り	0000 ×2基

- 4 許可等の有無は、「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。
- 5 技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条第1項に基づく技術管理者を設置している場合、その氏名を記入してください。
- 6 当該年度内で、休止等により稼働実績がない場合は、備考欄に、「休止」等を記入してください。

- 「(3) 最終処分場の状況」
- 1 当該年度に、福島県(郡山市、いわき市を含む)内に最終処分場を設置されている場合は、該当項目を記入してください。
  - 2 処分場の種類は、「1:管理型」、「2:安定型」又は「3:遮断型」を選択してください。
  - 3 許可等の有無は、「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。
  - 4 平成20年度の埋立量は、覆土量を除いたものです。なお、覆土量は、当該年度の覆土量欄に記入してください。
  - 5 自社発生物の埋立量とは、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の埋立量です。
  - 6 委託による直接埋立量とは、業として受託した廃棄物であって、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さを除く埋立量です。

- 7 委託廃棄物の自社中間処理後の埋立量とは、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さの埋立量です。
- 8 当該年度の残余容量とは、平成21年3月31日時点の残余容量です。
- 9 算定残余容量とは、実測された残余容量です。「算定した年月日」欄に算定した年月日を記入してください。
- 10 技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条第1項に基づく技術管理者を設置している場合、その氏名を記入してください。
- 11 当該年度内で、埋立実績がない場合は、備考欄に、「実績なし」と記入してください。

●様式-業C

様式-業Bで報告した中間処理施設及び最終処分場の処分実績について、記入してください。なお、処分実績がなかった場合は、記入不要です。

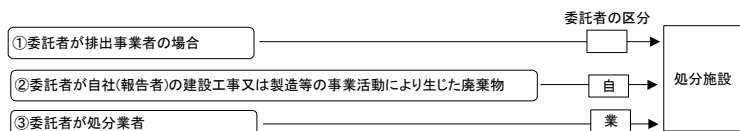
- 1 C1～C5欄を用いて、様式Bで報告した施設ごとに該当項目を記入してください。
- 2 施設番号は、様式Bで記載されたB21～B27、B91～B93の番号を記入してください。
- 3 自社の区分には、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の処分実績がある場合のみ、該当欄に「自」と記入してください。
- 4 産業廃棄物の種類は、**Vの分類表**の「分類名」と「コード」で記入してください。
- 5 「自社で再中間処理・再生・埋立」欄に記入した廃棄物のうち、自社の中間処理施設又は最終処分場で再度処理を行った場合は、該当する産業廃棄物処理施設欄に再掲してください。
- 6 委託先所在地は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名まで記入してください。
- 7 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立米(m<sup>3</sup>)で報告される場合は、「m3」と半角英数字で記入してください。

●様式-業D

様式-業Cで報告した中間処理施設及び最終処分場の処分実績について、委託者(排出事業者又は処分業者)ごとに、処分実績を記入してください。

- 1 産業廃棄物の種類は、**Vの分類表**の「分類名」と「コード」で記入してください。
- 2 委託者の区分は、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の処分実績は「自」と記入してください。また、委託者が処分業者の場合は「業」と記入してください。
- 3 委託者が排出事業者の場合は、「委託者の区分」は記入しないでください。委託者の区分欄は、処分した廃棄物が「自社の建設工事又は製造等の事業活動により

生じた廃棄物」又は「委託者が処分業者」の場合のみ記入してください。

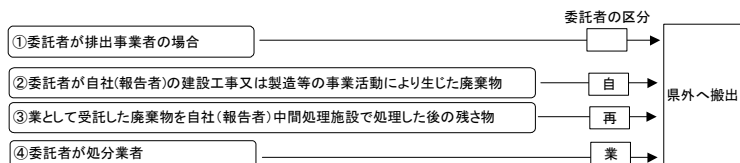


- 委託者の住所は、本社の所在地ではなく委託者の事業所等の所在地又は建設工事等にあつてはその現場の所在地を記入してください。福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名まで記入してください。
- 移動式の処理施設で処分された場合の「処分場所」は、処分した市町村名の後に移動式であることの旨を記入してください。（例：〇〇市（移動式））
- 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立米（ $m^3$ ）で報告される場合は、「 $m^3$ 」、リットルで報告される場合は、「L」とそれぞれ半角英数字で記入してください。
- 電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、15行目以降に行を追加し記入してください。

●様式－業E

収集運搬業であつて県内から県外への運搬実績のみ、委託者（排出事業者又は処分業者）ごとに、運搬先及び運搬先の処分実績を記入してください。

- 産業廃棄物の種類は、Vの分類表の「分類名」と「コード」で記入してください。
- 委託者の区分は、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物の運搬実績は「再」、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の運搬実績は「自」と記入してください。  
また、委託者が処分業者の場合は「業」と記入してください。
- 委託者が排出事業者の場合は、「委託者の区分」は記入しないでください。委託者の区分欄は、運搬した廃棄物が「業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物」、「自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物」又は「委託者が処分業者」の場合のみ記入してください。



- 委託者の住所は市町村名まで、運搬先の住所は都道府県名及び市町村名まで記入してください。
- 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立米（ $m^3$ ）で報告される場合は、「 $m^3$ 」、リットルで報告される場合は、「L」とそれぞれ半角英数字で記入してください。
- 電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、15行目以降に行を追加し記入してください。

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類	委託者(排出事業者又は処分業者)					単位	処
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所	所受託量		
1	0000			0000	0000	0000	t	
15	0000			0000	0000	0000	t	
16	0000			0000	0000	0000	t	
17	0000			0000	0000	0000	t	

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の収集運搬、処理・処分実績報告書

平成 年 月 日

記入例

報告者の住所 福島県福島市杉妻町2-16  
 報告者の氏名 ○○資源株式会社  
 電話番号 0123-45-6789

平成20年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理・処分実績(運搬実績)について、次のとおり報告します。

I 事業概要の表			
業者名	氏名又は名称	株式会社○○資源	
	住所	○○県○○市1-2-3	
	代表者氏名	福島○○	
事業所	電話番号	000-000-0000	資本金 12345千円
	名称	株式会社○○資源	
	所在地	○○県○○市1-2-3	
	電話番号	000-000-0000	従業者数 100人
事業内容	産業廃棄物の中間処理及びプラスチック製品製造		

II 事業概要の表(処分業者用)			
許可取得の状況	許可の区分	許可年月日	許可番号
	産業廃棄物処分業	平成15年1月1日	0712345789
	特別管理産業廃棄物処分業	平成15年1月1日	0700045789
処理(管理)責任者	福島県における一般廃棄物処理業の許可の有無	1:有り	有りの場合 市町村名( × × 市 ) 許可の区分( 中間処理 )
	産業廃棄物特別管理産業廃棄物	福島太郎	福島花子
平成20年度の処分実績	中間処理実績の有無	1:有り	最終処分実績の有無 1:有り
平成20年度の保管状況(処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物)	保管実績の有無	1:有り	

III 事業概要の表(収集運搬業用)					
収集運搬業の許可取得の有無	許可番号	平成20年度の収集運搬実績の有無			
	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	うち県外への搬出		
福島県	1:有り	0712345789	0700045789	1:有り	1:有り
郡山市	1:有り	8712345789	8700045789	1:有り	1:有り
いわき市	1:有り	9412345789	9400045789	1:有り	1:有り

記入者部課・氏名 所属 ○○管理部 氏名 福島花子

IV: 報告書チェック欄	業B	業C	業D	業E
報告する様式の有無	1:有り	1:有り	1:有り	1:有り

保管・中間処理・最終状況の概要表 - 中間処理・最終処分業 -

平成20年度実績 業者名 株式会社○○資源

記入例

(1)処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量	番号	産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量	
01 汚泥0210	△△市	150 t	05			t	
02		t	06			t	
03		t	07			t	
04		t	08			t	
※「産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入する。						00 合計	150 t

(2)中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21	廃プラスチックの破砕施設	△△市××1-1	08	50 t/日	1:有り	福島太郎	
B22	廃プラスチックの焼却施設	△△市××1-1	09	200 t/日	1:有り	福島太郎	
B23	汚泥の脱水施設	△△市××1-1	01	200 m <sup>3</sup> /日	1:有り	福島太郎	
B24	がれき類の破砕施設(移動式)	△△市××1-1	11	300 t/日	1:有り	福島太郎	
B25	汚泥の脱水施設	△△市××1-1	01	150 m <sup>3</sup> /日	1:有り	福島太郎	×2基
B26	廃プラスチックの焼却施設	△△市××1-1	09	70 t/日	1:有り	福島太郎	(8時間)
B27				/日	1:有り 0:無し		

(3)最終処分場の状況

施設番号	B91	B92	B93
処分場の名称	○○第1処分場		
処分場の所在地	××郡□□町1-1		
処分場の種類	1:管理型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型
許可等の有無	1:有り	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し
設置許可等年月日	平成10年1月1日	年月日	年月日
処分場面積	20,000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立地面積	12,000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立容量	135,000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成20年度の埋立量の計	6,610 t	0 t	0 t
自社発生物の埋立量	800 t	t	t
委託による直接埋立量	5,800 t	t	t
委託産業廃棄物の自社中間処理後の埋立量	10 t	t	t
平成20年度の覆土量	800 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成20年度末の残余容量	35,000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定残余容量	37,000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定した年月日	平成18年5月2日	年月日	年月日
技術管理者名	福島太郎		
備考			

記入例

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理施設における処分実績 - 中間処理・最終処分 -

平成20年度実績

業者名 株式会社〇〇資源

産業廃棄物処理施設の種類	名称	施設番号 (様式Bの番号)	自社の区分	処理した廃棄物と年間処理量			処理後の廃棄物と量			処理後の廃棄物の再生・処分状況					備考			
				種類(※1)	処理量	単位	処理後の種類(※1)	処理量	単位	自社で再中間処理・再生・埋立			委託先					
										処理(処分)方法 再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	委託先名称	委託先所在地(※2)		方法・(用途) 再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位
C1	プラスチックの破砕施設	B21	01	廃プラ0600	1,500	t	廃プラ0600	1,500	t	自社で焼却	500	t	〇〇資源	□□県〇〇市	燃料としてリサイクル	800	t	
			02										××興産	△△県〇〇郡×町	埋立	200	t	
			03															
			04															
			05															
C2	プラスチックの焼却施設	B22	06	自 廃プラ0600	500	t	燃え殻0112	300	t				××セメント	□□県〇〇市	セメント原料	100	t	
			07										××興産	△△県〇〇郡×町	埋立	200	t	
			08															
			09															
			10															
C3	汚泥の脱水施設	B23	11															
			12															
			13															
			14															
			15															
C4	がれき類の破砕施設	B24	16															
			17															
			18															
			19															
			20															
C5	管理型最終処分	B91	21	自 ばいじん1800	10	t												
			22															
			23	自 木くず0810	800	t												
			24															
			25															

(※1)「種類」「処理後の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。  
 (※2)「委託先所在地」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名までは×)

記入例

廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処分実績 - 中間処理・最終処分業 -

平成20年度実績

業者名 株式会社〇〇資源

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類(※1)	委託者(排出事業者又は処分業者)					自社での処分方法			処分により生じた廃棄物の他社等での処分			
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所(※2、※3)	受託量	単位	処分方法	施設番号(様式Bの番号)	処分場所(※3)	氏名又は名称	住所(※3)	処分内容
1	廃プラ0600			〇〇製鋼(株)	福島市	800.00	t	破碎	B21	△△市	〇〇資源	□□県〇〇市	燃料としてリサイクル
2	廃プラ0600			□□産業(株)	茨城県〇〇市	200.00	t	破碎	B21	△△市	××興産	△△県〇〇郡×町	埋立
3	廃プラ0606			△△建設	福島市	500.00	t	破碎・焼却・管理型埋立	B21・B22・B91	△△市			
4	汚泥0210	業		〇〇処理興業	福島市	3,000.00	t	脱水(建設資材に利用)	B23	△△市			
5	汚泥0211			□□市第1下水処理場	〇〇市	200.00	t	脱水(建設資材に利用)	B23	△△市			
6	がれき類1501			××建設	□□市	2,500.00	t	破碎(建設資材に利用)	B24	□□市(移動式)			
7	がれき類1501			××組	〇〇市	2,500.00	t	破碎(建設資材として販売)	B24	〇〇市(移動式)			
8	建設系混合廃棄物2022			××建設	□□市	1,000.00	t	破碎・管理型埋立	B24・B91	□□市(移動式)・△△市			
9	建設系混合廃棄物2022			××組	〇〇市	2,000.00	t	破碎	B24	〇〇市(移動式)	××興産	△△県〇〇郡×町	埋立
10	汚泥0221			××組	××郡〇〇町	5,000.00	t	管理型埋立	B91	△△市			
11	木くず0810	自		株式会社〇〇資源	福島市	800.00	m3	管理型埋立	B91	△△市			
12													
13													
14													
15													

(※1)「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

(※2)委託者の「住所」は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた事業所等の所在地又は建設工事等にあつてはその現場の所在地を記入してください。

(※3)「住所」「処分場所」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

記入例

(特別管理産業廃棄物)の福島県外への運搬実績 - 収集運搬業 -

平成20年度実績

業者名 (株)〇〇資源

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類(※1)	委託者(排出事業者又は処分業者)					運搬先及び運搬先での処分方法					
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所(※2、※3)	受託量	単位	許可番号	氏名又は名称	住所(※3)	処分方法(最終的な処分方法まで)	備考
1	廃プラ0600			〇〇工業(株)	福島市	200.00	t	12345678910	〇〇興業	××県××市	焼却・埋立	
2	廃プラ0601			〇〇自動車(株)	福島市	1.00	t	12345678910	〇〇興業	××県××市	破碎・燃料	
3	特定有害産廃7426			××電子	福島市	50.00	t	99345678910	□□処理興業	××県××市	焼却	
4	木くず0810	業		〇〇チップ(株)	郡山市	100.00	m3	xx345678910	□□処理興業	××県××市	燃料化	
5				委託者が処分業者である場合								
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

(※1)「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。  
 (※2)委託者の「住所」は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた福島県内の事業所等の所在地又は建設工事等にあつてはその現場の所在地を記入してください。  
 (※3)「住所」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

IV その他(廃棄物の分類表、処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表)

産業廃棄物の分類表

※産業廃棄物の種類は、この表の分類名とコードNo.で記入してください。

●産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

分類名	区分	コード
燃え殻	下記以外	0100
	下記以外	0110
	焼却灰	0111
	焼却灰	0112
	廃カーボン	0120
汚泥	下記以外	0200
	有機性	0210
	汚泥	0211
	無機性	0220
	汚泥	0221
廃油	下記以外	0300
	一般廃	0310
	油	0311
	潤滑油	0312
	廃溶剤	0320
廃酸	下記以外	0400
	有機溶剤	0401
	無機溶剤	0402
	有機溶剤	0403
	無機溶剤	0404
廃アルカリ	下記以外	0500
	アルカリ	0501
	アルカリ	0502
	アルカリ	0503
	アルカリ	0504
廃プラスチック類	下記以外	0600
	発泡スチロール	0601
	発泡ウレタン	0602
	発泡ポリスチレン	0603
	発泡ビニール	0604
	プラスチック製廃棄物	0605
	発泡スチロール	0606
	発泡ウレタン	0607
	発泡ポリスチレン	0608
	発泡ビニール製建設資材	0609
紙くず	下記以外	0700
	建設工事	0710
	の紙くず	0711
木くず	下記以外	0800
	建設工事	0810
	の木くず	0811
繊維くず	下記以外	0900
	建設工事	0910
	の繊維くず	0911
動植物性残渣	下記以外	1000
	動物系	1001
	植物系	1002
金属くず	下記以外	1200
	鉄くず	1210
	非鉄金属	1220
	鉄くず	1221
	非鉄金属	1222
	鉄くず	1300
	非鉄金属	1310
	鉄くず	1311
	非鉄金属	1312
	鉄くず	1313
非鉄金属	1314	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	下記以外	1315
	ガラス	1316
	コンクリート	1317
	陶磁器	1318
	ガラス	1319
	コンクリート	1320
	陶磁器	1321
	ガラス	1322
	コンクリート	1323
	陶磁器	1324
紙さい	下記以外	1400
	紙さい	1401
	紙さい	1500
	紙さい	1501
がれき類	下記以外	1502
	がれき	1503
	がれき	1504
動物の糞尿	下記以外	1600
	動物の死体	1700
	ばいじん	1800
	13号廃棄物	1900

●特別管理産業廃棄物

分類名	区分	コード
引火性廃油	下記以外	7000
	引火性廃油(有害)	7010
強酸	下記以外	7100
	強酸(有害)	7110
強アルカリ	下記以外	7200
	強アルカリ(有害)	7210
腐敗性廃棄物	下記以外	7300
	下記以外	7400
	下記以外	7410
	PCB等	7411
	PCB汚染物	7412
	PCB処理物	7413
	廃石綿等(飛散性)	7421
	指定下水汚泥	7422
	ばいじん(有害)	7423
	燃え殻(有害)	7424
特定有害産業廃棄物	廃油(有害)	7425
	汚泥(有害)	7426
	廃酸(有害)	7427
	廃アルカリ(有害)	7428
	ばいじん(有害)	7429
	13号廃棄物(有害)	7430
	7431	7431
	7432	7432
	7433	7433
	7434	7434

●不可分一体の産業廃棄物

分類名	区分	コード
建設系混合廃棄物	下記以外	2000
	安定型建設系混合廃棄物	2010
	管理型建設系混合廃棄物	2020
	不安定型建設系混合廃棄物	2030
安定型混合廃棄物	下記以外	2100
	安定型混合廃棄物	2110
	管理型混合廃棄物	2120
	不安定型混合廃棄物	2130
シュレッターダスト	下記以外	2400
	シュレッターダスト	2410
	シュレッターダスト	2420
	シュレッターダスト	2430
石綿含有産業廃棄物	下記以外	2440
	石綿含有産業廃棄物	2450
	石綿含有産業廃棄物	2460
	石綿含有産業廃棄物	2470
	石綿含有産業廃棄物	2480
	石綿含有産業廃棄物	2490
廃自動車	下記以外	3000
	廃二輪	3010
	バイク	3011
	自動車	3012
廃電気機械器具	下記以外	3100
	廃パソコン機・廃マルチロジック	3101
	プリント配線板	3102
	半導体素子	3103
	テレビジョン受信機	3104
	テレビジョン送信機	3105
	冷蔵庫	3106
	洗濯機	3107
	電子レンジ	3108
	パソコン機	3109
廃電池類	下記以外	3500
	乾電池	3510
	乾電池	3520
	乾電池	3530
	乾電池	3540
	乾電池	3550
複合材	下記以外	3600
	複合材	3601

産業廃棄物処理施設区分表

産業廃棄物処理施設	施設区分コード	基準処理能力	
		許可	指定
汚泥の脱水施設	10m3/日	01	51
汚泥の乾燥施設(機械)	10m3/日	02	52
汚泥の乾燥施設(天日)	100m3/日	03	53
汚泥の焼却施設	5m3/日, 200kg/時, 面積2m <sup>2</sup>	04	54
廃油の油水分離施設	10m3/日	05	55
廃油の焼却施設	1m3/日, 0.2t/時, 面積2m <sup>2</sup>	06	56
廃酸・廃アルカリの中和施設	50m3/日	07	57
廃プラスチック類の破砕施設	5t/日	08	58
廃プラスチック類の焼却施設	0.1t/時, 面積2m <sup>2</sup>	09	59
その他の焼却施設	0.2t/時, 面積2m <sup>2</sup>	10	60
がれき類の破砕施設	5t/日	11	61
木くずの破砕施設	5t/日	12	62
その他の処理施設			63
有害物質を含む汚泥のコンクリート固形化施設		21	
水銀を含む汚泥の焙焼施設		22	
シアン化合物の分解施設		23	
PCB等の焼却施設		24	
PCB汚染物の分解施設		25	
PCB汚染物の洗浄施設		26	

(備考)  
上記の施設区分コードのうち、「許可」とあるのは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に基づく産業廃棄物処理施設設置許可が必要な施設であり、「指定」とあるのは、福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例第32条第1項に基づく産業廃棄物指定処理施設設置許可が必要な施設及びその他の施設である。

Ⅲ-2 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理実績報告書（排出事業者用） 一式

様式-事A

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績報告書

平成 年 月 日

報告者の住所 \_\_\_\_\_

報告者の氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

平成20年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績について、次のとおり報告します。

I 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績状況表			
事業所	名称		
	所在地		
	電話番号	従業員数	人
	事業内容 (主な製品商品)		
平成20年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の発生量の実績	産業廃棄物 t/年	特別管理産業廃棄物 t/年	
平成21年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の発生量の目標	産業廃棄物 t/年	特別管理産業廃棄物 t/年	

II 施設設置事業者用			
設置者	氏名又は名称		
	住所		
	代表者氏名		
	電話番号	資本金	千円
処理(管理)責任者	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	
平成20年度の処分実績	中間処理実績の有無	最終処分実績の有無	
	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し	
平成20年度の保管状況(処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物)	保管実績の有無		
	1:有り 0:無し		

記入者部課・氏名	所属	氏名
----------	----	----

Ⅲ:報告書チェック欄	事B	事C	事F
報告する様式の有無	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し

様式-事B

保管・中間処理・最終状況の概要表 - 施設設置事業者 -

平成20年度実績

業者名

(1)処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量	番号	産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量	
01		t	05			t	
02		t	06			t	
03		t	07			t	
04		t	08			t	
※) 産業廃棄物の種類は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入する。						00 合計	0 t

(2)自社の設置する中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21				産業廃棄物の換算比重/日	1:有り 0:無し		
B22				/日	1:有り 0:無し		
B23	燃え殻			/日	1:有り 0:無し		
B24	汚泥			/日	1:有り 0:無し		
B25	廃油			/日	1:有り 0:無し		
B26	廃酸			/日	1:有り 0:無し		
B27	廃アルカリ			/日	1:有り 0:無し		
	廃プラスチック類			/日	1:有り 0:無し		
	紙くず				0.30(0.2~0.9)		

(3)自社の設置する最終処分場の状況

施設番号	B91			B92			B93		
	名称	所在地	種別	名称	所在地	種別	名称	所在地	種別
処分場の名称	飛さ						0.12		
処分場の所在地							1.00(0.8~1.0)		
処分場の種別	1:管理型 2:安定型 3:遮断型			1:管理型 2:安定型 3:遮断型			0.25		
許可等の有無	1:有り 0:無し			1:有り 0:無し			1:有り 0:無し		
設置許可等年月日	年 月 日			年 月 日			1.93(0.9~2.年)		
処分場面積	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			1.48		m <sup>2</sup>
埋立地面積	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>			1.26		m <sup>2</sup>
埋立容量	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>					m <sup>3</sup>
平成20年度の埋立量	t			t			t		t
	t			t			t		t
	t			t			t		t
	t			t			t		t
平成20年度の覆土量	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>
平成20年度末の残余容量	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>
算定残余容量	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>
算定した年月日	年 月 日			年 月 日			年 月 日		年 月 日
技術管理者名									
備考									

産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理施設における処分実績 - 施設設置事業者 -

平成20年度実績

業者名

産業廃棄物処理施設の種類	施設番号 (様式Bの番号)	処理欄	処理した廃棄物と年間処理量			処理後の廃棄物と量			処理後の廃棄物の再生・処分状況								
			種類(※1)	処理量	単位	処理後の種類(※1)	処理量	単位	自社で再中間処理・再生・埋立			委託先				備考	
									処理(処分)方法 再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	委託先名称	委託先所在地(※2)	方法・(用途) 再生利用の場合は、具体的な用途	量		単位
C1		01															
		02															
		03															
		04															
		05															
C2		06															
		07															
		08															
		09															
		10															
C3		11															
		12															
		13															
		14															
		15															
C4		21															
		22															
		23															
		24															
		25															
C5		26															
		27															
		28															
		29															
		30															

(※1)「種類」「処理後の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

(※2)「委託先所在地」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

(平成20年度) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績報告書【その1】

事業所の名称

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類(※1)	発生量の目標	発生した量	自社で中間処理を行っていない場合							自社で中間処理を行っている場合								
				有償売却量	自ら利用量	自ら最終処分量	委託直接最終処分量	委託中間処理量	(推測可)		自社中間処理量	処理方法	自社中間処理後の量	自ら利用(有償売却を含む)量	自ら最終処分量	委託直接最終処分量	委託中間処理量	(推測可)	
									委託中間処理後の再生利用量	委託中間処理後の最終処分量								委託中間処理後の再生利用量	委託中間処理後の最終処分量
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				
01																			
02																			
03																			
04																			
05																			
06																			
07																			
08																			
09																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

(※1)「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。なお、廃棄物が同一種類であって、焼却・破碎等の複数種類以上の中間処理を行う(行った)場合には、それぞれを段毎に記入してください。





産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理実績報告書  
記入手続き

この冊子には、記入要領、記入例、廃棄物の分類表、産業廃棄物処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表などの報告書作成に係る資料が記載されています。

I 同封された書類について	1頁
II 作成・提出方法	1頁
III 記入要領	3頁
IV 記入例	7頁
V その他(廃棄物の分類表、処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表)	13頁

I 同封された書類について

以下の6点の書類が同封されています。確認してください。

- (1) 依頼文
- (2) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理実績報告書
- (3) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理実績報告書  
記入手続き【本書類】
- (4) 廃棄物等に係る意識調査票【例年の報告内容に追加された調査票です】
- (5) 返信用封筒
- (6) 産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度パンフレット

II 作成・提出方法

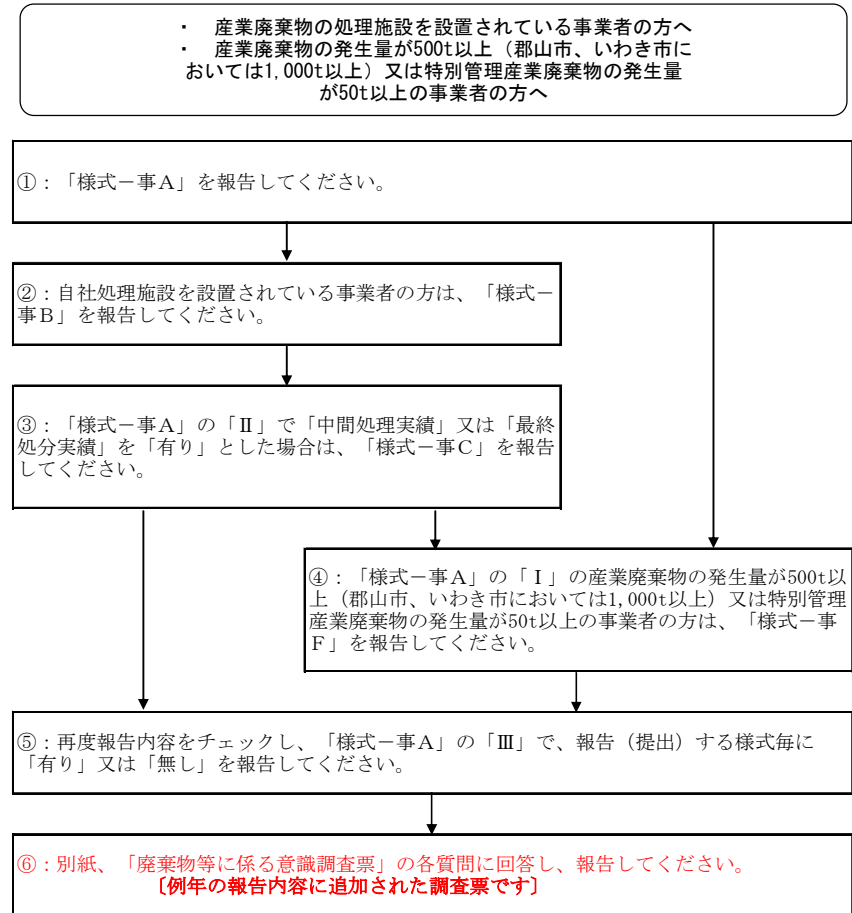
- (1) 報告書の作成(電子ファイルによる作成・提出が可能です。ご利用ください。)  
同封された「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績報告書」、「廃棄物等に係る意識調査票」は、福島県及び(財)日本環境衛生センターのホームページからダウンロードでき、電子メールによる提出もできます。なお、同封された報告書、調査票を用いて記入後、同封の返信封筒にて郵送又はファクシミリにて送信していただいても構いません。

■報告書の電子ファイルの入手方法  
[福島県のホームページからのダウンロード]  
<http://www.pref.fukushima.jp/recycle/21jittai/yousiki.htm>  
[(財)日本環境衛生センターホームページからのダウンロード]  
<http://www.jesc.or.jp/info/hik/yousiki.html>

■報告書の電子メールによる提出方法  
電子メール：hik-r@jesc.or.jp ※件名には、「福島県報告書」と明記してください。

※郵送される方でも、報告書の枚数が多い場合は、できる限りFD、CD等、電子データでの提出をお願いします。

(2) 報告書の記入の流れ



### Ⅲ 記入要領

#### (事業者用) 実績報告書等の記入要領

(「Ⅳ 記入例」を参考にして記入方法を確認してください。)

#### 1. 提出の対象者

以下に該当の方が対象です。

- ① 産業廃棄物の発生量が500 t以上(郡山市、いわき市においては1,000 t以上)又は特別管理産業廃棄物の発生量が50 t以上の事業者の方
- ② 福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設、最終処分場を設置されている方(処理実績がない場合も対象となります)

#### 2. 報告書の概略

提出していただく報告書の概略は、以下のとおりです。

様式	提出条件	内容
事A	すべての方	処理計画・実績等
事B	施設有り	保管状況、中間処理施設・最終処分場の設置状況(施設設置事業者)
事C	実績有り	中間処理施設・最終処分場における処分実績(施設設置事業者)
事F	実績有り	処理・委託実績等(産業廃棄物の発生量が500 t以上(郡山市、いわき市においては1,000 t以上)又は特別管理産業廃棄物の発生量が50 t以上の事業者)

#### 3. 報告書の記入要領

##### ●様式一事A

平成21年3月31日現在における貴社の状況について記入してください。

##### 「Ⅰ 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理計画・処理実績状況表」

- 1 報告書の提出を行う事業所の内容について、項目に従って記入してください。
- 2 名称、所在地、電話番号、従業員数及び事業内容(主な製品商品)は、現在のものを記入してください。
- 3 従業員数は、事業場における従業員(臨時職員等を含む。)数を記入してください。
- 4 主な製品商品について、製造業以外の業種である場合、記入する必要はありません。
- 5 発生した汚泥を自社内で脱水処理している場合は、脱水処理前の量を発生量として計上してください。(したがって、汚泥を脱水処理している場合で脱水処理前の量が500t以上(郡山市、いわき市においては1,000t以上)の事業者は、「様式一事F」の報告が必要となります。)

##### 「Ⅱ 施設設置事業者用」

- 1 福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設、最終処分場を設置されている場合は、該当項目を記入してください。
- 2 氏名又は名称、住所、代表者氏名及び電話番号は、現在のものを記入してください。
- 3 資本金は、千円単位で記入してください。
- 4 処理(管理)責任者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第6項に基づく産業廃棄物処理責任者を設置している場合はその氏名を、同法第12条の2第6項に基づく特別管理産業廃棄物管理責任者を設置している場合はその氏名を記入してください。
- 5 処分実績及び保管実績は、必ず「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。

##### 「記入者部課・氏名」

- 1 この報告書の記入者の所属及び氏名を必ず記入してください。

##### 「Ⅲ 報告書チェック欄」

- 1 様式一事B～事Fによる報告について、下記により「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。

なお、該当様式に報告する「実績がない」場合は、必ず「0:無し」を選択してください。ただし、電子ファイルで提出される方は、提出不用となる様式のシートを削除する必要はありません。

事B-福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設又は最終処分場を設置されている事業者の方

事C-設置する中間処理施設又は最終処分場において、平成20年度中の処分実績がある事業者の方

事F-産業廃棄物の発生量が500 t以上(郡山市、いわき市においては1,000 t以上)又は特別管理産業廃棄物の発生量が50 t以上の事業者の方

##### ●様式一事B

##### 「(1) 処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況」

- 1 当該年度内に、処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物がある場合、該当項目を記入してください。
- 2 産業廃棄物の種類は、**Vの分類表**の「分類名」と「コード」で記入してください。
- 3 所在地は、実際の保管場所の市町村名を記入してください。(市町村名まで)

##### 「(2) 自社の設置する中間処理施設の状況」

- 1 当該年度に、福島県(郡山市、いわき市を含む)内に中間処理施設を設置されている場合は、該当項目を記入してください。

- 施設区分は、**Vの施設区分表**から施設区分コードを記入してください。
- 処理能力は、能力（規模）と単位を欄を分けて記入してください。なお、基数又は時間は、備考欄に記入してください。

(2)中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21	〇〇〇〇〇〇	△△△△△	11	200	m <sup>3</sup> /日	1:有り	〇〇〇〇 (8時間)
B22	◇◇◇◇◇	△△△△△	08	50	t/日	1:有り	〇〇〇〇 ×2基

- 許可等の有無は、「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。
- 技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条第1項に基づく技術管理者を設置している場合、その氏名を記入してください。
- 当該年度内で、休止等により稼働実績がない場合は、備考欄に、「休止」等を記入してください。

「(3) 自社の設置する最終処分場の状況」

- 当該年度に、福島県（郡山市、いわき市を含む）内に最終処分場を設置されている場合は、該当項目を記入してください。
- 処分場の種類は、「1:管理型」、「2:安定型」又は「3:遮断型」を選択してください。
- 許可等の有無は、「1:有り」又は「0:無し」を選択してください。
- 平成20年度の埋立量は、覆土量を除いたものです。なお、覆土量は、当該年度の覆土量欄に記入してください。
- 当該年度の残余容量とは、平成21年3月31日時点の残余容量です。
- 算定残余容量とは、実測された残余容量です。「算定した年月日」欄に算定した年月日を記入してください。
- 技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条第1項に基づく技術管理者を設置している場合、その氏名を記入してください。
- 当該年度内で、埋立実績がない場合は、備考欄に、「実績なし」と記入してください。

●様式一事C

様式一事Bで報告した自社の設置する中間処理施設及び最終処分場の処分実績について記入してください。なお、処分実績がなかった場合は、記入不要です。

- C1～C5欄を用いて、様式Bで報告した施設ごとに該当項目を記入してください
- 施設番号は、様式Bで記載されたB21～B27、B91～B93の番号を記入してください。

- 産業廃棄物の種類は、**Vの分類表**の「分類名」と「コード」で記入してください。
- 「自社で再中間処理・再生・埋立」欄に記入した廃棄物のうち、自社の中間処理施設又は最終処分場で再度処理を行った場合は、該当する産業廃棄物処理施設欄に再掲してください。
- 委託先所在地は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名まで記入してください。
- 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立米(m<sup>3</sup>)で報告される場合は、「m3」と半角英数字で記入してください。

●様式一事F

様式一事Aで報告した平成20年度の産業廃棄物の発生量が500t以上（郡山市、いわき市においては1,000t以上）又は特別管理産業廃棄物の発生量が50t以上の場合のみ記入してください。

- 産業廃棄物の種類は、**Vの分類表**の「分類名」と「コード」で記入してください。
- 単位は「t（トン）」で記入してください。
- 廃棄物が同一種類であって、焼却・破砕等の複数種類以上の中間処理を行う（行った）場合には、それぞれを段毎に記入してください。
- 自社内で中間処理を行っていない場合は、②～⑧欄に記入してください。また、委託の状況（その2）も「自社内で中間処理を行っていない場合」欄に記入してください。
- 自社内で中間処理を行っている場合は、⑨～⑯欄に記入してください。また、委託の状況（その2）も「自社内で中間処理を行っている場合」欄に記入してください。
- 委託量（⑤、⑥、⑬、⑭の合計）が1万トンを超える場合は、「産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の委託状況報告書（その3）」に、委託した産業廃棄物の種類、委託量、収集運搬業者、運搬先及び運搬先の所在地を記入してください。
- 電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、20行目以降に行を追加し記入してください。

様式-事A

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績報告書

平成 年 月 日

記入例

報告者の住所 福島県福島市杉妻町2-16  
 報告者の氏名 ××電子株式会社  
 電話番号 0123-45-6789

平成20年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績について、次のとおり報告します。

I 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理計画・処理実績状況表				
事業所	名称	××電子株式会社		
	所在地	福島県福島市杉妻町2-16		
	電話番号	0123-45-6789	従業員数	200 人
	事業内容 (主な製品商品)	〇〇製品製造		
平成20年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の発生量の実績	産業廃棄物	73,550 t/年	特別管理産業廃棄物	500 t/年
	特別管理産業廃棄物			
平成21年度の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の発生量の目標	産業廃棄物	63,500 t/年	特別管理産業廃棄物	500 t/年
	特別管理産業廃棄物			

II 施設設置事業者用				
設置者	氏名又は名称	××電子株式会社		
	住所	福島県福島市杉妻町2-16		
	代表者氏名	福島〇〇		
	電話番号	0123-15-6789	資本金	500,000 千円
処理(管理)責任者	産業廃棄物	福島太郎	特別管理産業廃棄物	福島太郎
	特別管理産業廃棄物			
平成20年度の処分実績	中間処理実績の有無	1:有り	最終処分実績の有無	1:有り
	最終処分実績の有無			
平成20年度の保管状況(処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物)	保管実績の有無	1:有り		
記入者部 課・氏名	所属	〇〇管理部	氏名	福島花子

III:報告書チェック欄	事B	事C	事F
報告する様式の有無	1:有り	1:有り	1:有り

様式-事B

保管・中間処理・最終状況の概要表 - 施設設置事業者 -

平成20年度実績

業者名 ××電子株式会社

記入例

(1)処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

番号	産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量	番号	産業廃棄物の種類(※)	所在地	保管量
01	汚泥0210	△△市	150 t	05			t
02			t	06			t
03			t	07			t
04			t	08			t
00	合	計	150 t				

(※)産業廃棄物の種類Jは、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入する。

(2)自社の設置する中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21	廃プラスチックの破砕施設	△△市××1-1	08	50 t/日	1:有り	福島太郎	
B22	廃プラスチックの焼却施設	△△市××1-1	09	200 t/日	1:有り	福島太郎	
B23	汚泥の脱水施設	△△市××1-1	01	200 m <sup>3</sup> /日	1:有り	福島太郎	
B24	汚泥の脱水施設	△△市××1-1	01	150 m <sup>3</sup> /日	1:有り	福島太郎	×2基
B25	廃プラスチックの焼却施設	△△市××1-1	09	70 t/日	1:有り	福島太郎	(8時間)
B26				/日	1:有り 0:無し		
B27				/日	1:有り 0:無し		

(3)自社の設置する最終処分場の状況

施設番号	B91	B92	B93
処分場の名称	〇〇第1処分場		
処分場の所在地	××郡□□町1-1		
処分場の種類	1:管理型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型	1:管理型 2:安定型 3:遮断型
許可等の有無	1:有り	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し
設置許可等年月日	平成10年1月1日	年月日	年月日
処分場面積	20,000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立地面積	12,000 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
埋立容量	135,000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成20年度の埋立量	5,810 t	t	t
	t	t	t
	t	t	t
	t	t	t
平成20年度の覆土量	800 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
平成20年度末の残余容量	35,000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定残余容量	37,000 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
算定した年月日	平成18年5月2日	年月日	年月日
技術管理者名	福島太郎		
備考			

記入例

業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理施設における処分実績 - 施設設置事業者 -

平成20年度実績

業者名 ××電子㈱

産業廃棄物処理施設の種類	施設番号 (様式Bの番号)	処理欄	処理した廃棄物と年間処理量			処理後の廃棄物と量			処理後の廃棄物の再生・処分状況						備考		
			種類(※1)	処理量	単位	処理後の種類(※1)	処理量	単位	自社で再中間処理・再生・埋立			委託先					
									処理(処分)方法 再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	委託先名称	委託先所在地(※2)	方法・(用途) 再生利用の場合は、具体的な用途		量	単位
C1 廃プラスチックの破砕施設	B21	01	廃プラ0600	1,500	t	廃プラ0600	1,500	t	自社で焼却	(500)	t	〇〇資源	□□県〇〇市	燃料としてリサイクル	800	t	
		02										××興産	△△県〇〇郡×町	埋立	200	t	
		03															
		04															
		05								再掲							
C2 廃プラスチックの焼却施設	B22	06	廃プラ0604	(500)	t	燃え殻0112	300	t				××セメント	□□県〇〇市	セメント原料	100	t	
		07	廃プラ0600	2,000	t							××興産	△△県〇〇郡×町	埋立	200	t	
		08				ばいじん1800	50	t	自社で埋立	(10)	t	××セメント	□□県〇〇市	セメント原料	40	t	
		09															
C3 汚泥の脱水施設	B23	11	汚泥0210	3,000	t	汚泥0210	1,000	t	建設資材として利用	1,000	t						
		12															
		13															
		14															
		15															
C4 管理型最終処分	B91	21	ばいじん1800	(10)	t												
		22	汚泥0221	5,000	t												
		23	木くず0800	800	t												
		24															
C5		26															
		27															
		28															
		29															
		30															

(※1)「種類」「処理後の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

(※2)「委託先所在地」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

記 入 例

(平成20年度) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理実績報告書【その1】

事業所の名称 ××電子株

番号	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類(※1)	発生量の目標	発生した量	自社で中間処理を行っていない場合						自社で中間処理を行っている場合									
				有償売却量	自ら利用量	自ら最終処分量	委託直接最終処分量	委託中間処理量	(推測可)		自社中間処理量	処理方法	自社中間処理後の量	自ら利用(有償売却を含む)量	自ら最終処分量	委託直接最終処分量	委託中間処理量	(推測可)	
									委託中間処理後の再生利用量	委託中間処理後の最終処分量								委託中間処理後の再生利用量	委託中間処理後の最終処分量
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				
01	廃プラ0600	1,000	1,000							1,000	破砕	1,000			200	800	800		
02	廃プラ0604	600	500							500	破砕・焼却	100			100	100			
03	廃プラ0600	2,000	2,000							2,000	焼却	200		200					
04	汚泥0210	3,500	3,000							3,000	脱水	1,000	1,000						
05	ばいじん1800	100	50			10		40	40										
06	汚泥0220	5,000	5,000			5,000													
07	木くず0800	1,000	800			800													
08	廃油0311	1,300	1,200					1,200	1,200										
09	強酸7100	500	500					500	1										
10	金属くず1220	9,000	10,000	10,000															
11	ばいじん1800	40,000	50,000					50,000	50,000										
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

委託量が1万トンを超える場合は、様式-事F(3)を報告

(※1)「産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。なお、廃棄物が同一種類であって、焼却・破砕等の複数種類以上の中間処理を行う(行った)場合には、それぞれを段毎に記入してください。

記 入 例

平成20年度) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の処理計画・処理実績報告書【その2】

【その1】 の廃棄物 の流れと 対応する 番号	有償売却・自ら利 用の用途	委託の状況								
		自社で中間処理を行っていない場合					自社で中間処理を行っている場合			
		委託直接最終処分		委託中間処理の委託先名称及び所在地			委託直接最終処分		委託中間処理の委託先名称及び所在地	
		委託先名称	委託先所在地 (※2)	委託先名称	委託先所在地 (※2)	委託中間処理の 方法(資源化等の 用途)	委託先名称	委託先所在地 (※2)	委託先名称	委託先所在地 (※2)
②、③、⑪	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑬	⑬	⑭	⑭	⑭
01						××興産	△△県○○郡×町	○○資源	□□県○○市	燃料としてリサイ クル
02								××セメント	□□県○○市	セメント原料
03						××興産	△△県○○郡×町			
04	建設資材として 利用									
05				××セメント	□□県○○市	セメント原料				
06										
07										
08				○○油化	□□県○○市	燃料化				
09				□□化学	○○市	焼却・埋立				
10	鉄鋼原料									
11				□□セメント	□□県○○市	セメント原料				
11				△△セメント	××県△△市	セメント原料				

(※2)「委託先所在地」は、福島県内の場合は市町村名まで、福島県外の場合は都道府県名及び市町村名までを記入してください。(いずれの場合も、郡名まででは×)

(表中の○付き番号は【その1】中の○付き番号と対応します。)



産業廃棄物の分類表

※産業廃棄物の種類は、この表の分類名とコードNo.で記入してください。

●産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）		
分類名	区分	コード
燃え殻	下記以外	0100
	下記以外	0110
	焼却灰	0111
	燃焼残渣	0112
汚泥	下記以外	0200
	有機性	0210
	無機性	0220
	汚泥	0222
廃油	下記以外	0300
	一般廃油	0310
	油	0311
	動物性廃油	0320
廃酸	下記以外	0400
	硫酸	0401
	硝酸	0402
	塩酸	0403
廃アルカリ	下記以外	0500
	苛性ソーダ	0501
	苛性石灰	0502
	苛性カリ	0503
廃プラスチック類	下記以外	0600
	PET	0601
	PS	0602
	その他	0603
紙くず	下記以外	0700
	新聞紙	0710
	雑誌紙	0711
	その他	0712
木くず	下記以外	0800
	建築工事	0810
	伐採材	0811
	その他	0812
繊維くず	下記以外	0900
	建築工事	0910
	繊維	0911
	その他	0912
動植物性残渣	下記以外	1000
	動物系	1001
	植物系	1002
	その他	1003
ゴムくず	下記以外	1100
	天然ゴム	1101
	合成ゴム	1102
	その他	1103
金属くず	下記以外	1200
	鉄くず	1210
	非鉄金属	1220
	その他	1230
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	下記以外	1300
	ガラス	1310
	コンクリート	1320
	陶磁器	1330
鉱さい	下記以外	1400
	スラグ	1401
	炉灰	1402
	その他	1403
がれき類	下記以外	1500
	コンクリート破片	1501
	アスコン破片	1502
	その他	1503
動物の糞尿	下記以外	1600
	動物の死体	1601
	ばいじん	1602
	その他	1603

●特別管理産業廃棄物		
分類名	区分	コード
引火性廃油	下記以外	7000
	引火性廃油（有害）	7010
強酸	下記以外	7100
	強酸（有害）	7110
強アルカリ	下記以外	7200
	強アルカリ（有害）	7210
感染性廃棄物	下記以外	7300
	感染症病原体	7301
	感染症培養液	7302
	感染症廃棄物	7303
	感染症廃棄物	7304
	感染症廃棄物	7305
	感染症廃棄物	7306
	感染症廃棄物	7307
	感染症廃棄物	7308
	感染症廃棄物	7309
	感染症廃棄物	7310
	感染症廃棄物	7311
特定有害産業廃棄物	下記以外	7400
	PCB等	7401
	PCB等	7402
	PCB等	7403
	PCB等	7404
	PCB等	7405
	PCB等	7406
	PCB等	7407
	PCB等	7408
	PCB等	7409
	PCB等	7410
	PCB等	7411

●不可分一体の産業廃棄物		
分類名	区分	コード
建設系混合廃棄物	下記以外	2000
	建設系混合廃棄物	2010
	建設系混合廃棄物	2020
	建設系混合廃棄物	2030
安定型混合廃棄物	下記以外	2100
	安定型混合廃棄物	2110
	安定型混合廃棄物	2120
	安定型混合廃棄物	2130
管理型混合廃棄物	下記以外	2200
	管理型混合廃棄物	2210
	管理型混合廃棄物	2220
	管理型混合廃棄物	2230
シュレッターダスト	下記以外	2400
	シュレッターダスト	2410
	シュレッターダスト	2420
	シュレッターダスト	2430
石綿含有産業廃棄物	下記以外	2440
	石綿含有産業廃棄物	2441
	石綿含有産業廃棄物	2442
	石綿含有産業廃棄物	2443
廃自動車	下記以外	3000
	廃自動車	3010
	廃自動車	3011
	廃自動車	3012
廃電気機械器具	下記以外	3100
	廃電気機械器具	3101
	廃電気機械器具	3102
	廃電気機械器具	3103
	廃電気機械器具	3104
	廃電気機械器具	3105
	廃電気機械器具	3106
	廃電気機械器具	3107
	廃電気機械器具	3108
	廃電気機械器具	3109
	廃電気機械器具	3110
	廃電気機械器具	3111
廃電池類	下記以外	3500
	廃電池類	3510
	廃電池類	3520
	廃電池類	3530
複合材	下記以外	3600
	複合材	3610

産業廃棄物処理施設区分表

産業廃棄物処理施設	基準処理能力	施設区分コード	
		許可	指定
汚泥の脱水施設	10m3/日	01	51
汚泥の乾燥施設（機械）	10m3/日	02	52
汚泥の乾燥施設（天日）	100m3/日	03	53
汚泥の焼却施設	5m3/日、200kg/時、面積2m <sup>2</sup>	04	54
廃油の油水分離施設	10m3/日	05	55
廃油の焼却施設	1m3/日、0.2t/時、面積2m <sup>2</sup>	06	56
廃酸・廃アルカリの中和施設	50m3/日	07	57
廃プラスチック類の破砕施設	5t/日	08	58
廃プラスチック類の焼却施設	0.1t/時、面積2m <sup>2</sup>	09	59
その他の焼却施設	0.2t/時、面積2m <sup>2</sup>	10	60
がれき類の焼却施設	5t/日	11	61
木くずの破砕施設	5t/日	12	62
その他の処理施設			63
有害物質を含む汚泥のコンクリート固化施設		21	
水銀を含む汚泥の焙焼施設		22	
シアン化合物の分解施設		23	
廃PCB等の焼却施設		24	
PCB汚染物の分解施設		25	
PCB汚染物の洗浄施設		26	

（備考）  
上記の施設区分コードのうち、「許可」とあるのは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に基づく産業廃棄物処理施設設置許可が必要な施設であり、「指定」とあるのは、福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例第32条第1項に基づく産業廃棄物指定処理施設設置許可が必要な施設及びその他の施設である。

産業廃棄物の換算比重

産業廃棄物の種類	換算比重(t/m3)
燃え殻	1.14(0.8~1.8)
汚泥	1.10(0.8~1.8)
廃油	0.90
廃酸	1.25
廃アルカリ	1.13
廃プラスチック類	0.35(0.1~0.4)
紙くず	0.30(0.2~0.9)
木くず	0.55(0.3~1.0)
繊維くず	0.12
動植物性残さ	1.00(0.8~1.2)
ゴムくず	0.25
金属くず	1.13(0.4~1.7)
ガラスくず及び陶磁器くず	1.00(0.7~1.5)
鉱さい	1.93(0.9~2.1)
がれき類	1.48
ばいじん	1.26

### Ⅲ-3 採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書 一式

様式-鉱業

採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書

平成 年 月 日

平成20年度の貴事業所での採石業、砂利採取業における事業概要と産業廃棄物の排出・処理状況について記入してください。

I 事業所の概要	
事業所名	称
代表者	氏名
所在地	
電話番号	従業者数 人
事業内容	
採石・砂利採取場所の所在地	
福島県内(郡山市、いわき市を含む)に複数箇所ある場合は複数記入(場所が同一市町村内であれば区分する必要はありません)	
記入者	部 課 ・ 氏名 所属 氏名

II 事業の概要		
平成20年度の事業実績	問1 採石・砂利採取事業の実績がありましたか	問2 採石又は砂利事業に伴い汚泥の発生がありましたか(採取現場で埋め戻されたものを含む)
	1:有り 0:無し	1:有り 0:無し

汚泥の発生有り

汚泥の発生がない場合は、以降の記入不要です。

III 採石業、砂利採取業から発生した汚泥の排出・処理状況				
問3	①汚泥が発生する採石・砂利採取場所の所在地を記入してください。(複数の場所であっても同一市町村内であれば区分する必要はありません)			
	②平成20年度の1年間に発生量した汚泥量 (①の汚泥が発生する採石・砂利採取場所ごとに記入してください。(発生量とは脱水、乾燥処理前の量です))	t/年	t/年	t/年
問4	③事業所内で発生した汚泥の脱水、乾燥処理された場合は、その方法を記入してください。			
	④脱水、乾燥処理された場合のみ記入 平成20年度の1年間に脱水、乾燥処理された処理量を記入してください。	t/年	t/年	t/年
	⑤脱水、乾燥処理された場合のみ記入 ④の処理により生じた脱水、乾燥処理後の汚泥量を記入してください。	t/年	t/年	t/年
問5	⑥発生量した汚泥(問4で脱水、乾燥処理を回答された場合は⑤の汚泥量)の処分方法ごとの数量を記入してください。			
	⑥a. 採取場所への埋め戻し量	t/年	t/年	t/年
	⑥b. 建設資材等への利用量。(他社への提供・販売を含む)	t/年	t/年	t/年
	⑥c. その他量 〔 〕欄に具体的な処理・処分方法を記入してください。	t/年	t/年	t/年

鉱-1

採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書の記入手引き

この冊子には、記入要領、記入例などの報告書作成に係る資料が記載されています。

I 同封された書類について	1頁
II 作成・提出方法	1頁
III 記入要領	2頁
IV 記入例	3頁

#### I 同封された書類について

以下の4点の書類が同封されています。確認してください。

- (1) 依頼文
- (2) 採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書
- (3) 採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書の記入手引き  
〔本書類〕
- (4) 返信用封筒

#### II 作成・提出方法

報告書の作成(電子ファイルによる作成・提出が可能です。ご利用ください。)

同封された「採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書」は、福島県及び(財)日本環境衛生センターのホームページからダウンロードでき、電子メールによる提出もできます。なお、同封された報告書、調査票を用いて記入後、同封の返信封筒にて郵送又はファクシミリにて送信していただいても構いません。

##### ■報告書の電子ファイルの入手方法

〔福島県のホームページからのダウンロード〕

<http://www.pref.fukushima.jp/recycle/21jittai/yousiki.htm>

〔(財)日本環境衛生センターホームページからのダウンロード〕

<http://www.jesc.or.jp/info/hik/yousiki.html>

##### ■報告書の電子メールによる提出方法

電子メール: hik-r@jesc.or.jp

※件名には、「福島県報告書」と明記してください。

■FAX番号: 044-287-3255

### Ⅲ 記入要領

#### 採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書の記入要領 (「Ⅳ 記入例」を参考にして記入方法を確認してください。)

##### 1. 「Ⅰ 事業所の概要」の記入要領

平成21年3月31日現在における貴社の状況について記入してください。

- 1 名称、所在地、電話番号、従業員数及び事業内容は、現在のものを記入してください。
- 2 従業員数は、事業場における従業員（臨時職員等を含む。）数を記入してください。
- 3 採石・砂利採取場所の所在地は、平成20年度に存在した採石・砂利採取場所を記入してください。場所が複数ある場合は、複数記入してください。（ただし、場所が同一市町村内であれば区分する必要はありません）

##### 2. 「Ⅱ 事業の概要」の記入要領

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間の状況について記入してください。

- 1 採石又は砂利採取場所にて、発生する排水処理（砂利洗浄汚泥）汚泥の発生の有無を記入してください。なお、発生した汚泥を採取（跡地）現場への埋め戻しされている場合も「発生した」と記入してください。
- 2 氏名又は名称、住所、代表者氏名及び電話番号は、現在のものを記入してください。

##### 3. 「Ⅲ 採石業、砂利採取業から発生した汚泥の排出・処理状況」の記入要領

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間の状況について記入してください。

- 1 (問3①) 平成20年度の1年間に採石・砂利採取事業に伴い汚泥が発生した採石・砂利採取場所を記入してください。（市町村名まで）
- 1 (問3②) 平成20年度の1年間に発生した汚泥の発生量を記入してください。発生量とは、脱水又は乾燥等の中間処理前量を記入してください。
- 2 (問4③) 発生した汚泥を脱水、乾燥等の中間処理された場合には、その中間処理方法を記入してください。
- 3 (問4④) 発生した汚泥を中間処理された場合は、その中間処理（前）量を記入してください。
- 4 (問4⑤) 発生した汚泥を中間処理された場合は、その中間処理後の汚泥量を記入してください。
- 5 (問5⑥) 発生した汚泥の処分又は再生利用量を方法別に、該当する欄にその数量を記入してください。なお、「⑥a：採取（跡地）場所への埋め戻し」、「⑥b：建設資材等への利用」以外の場合は、「⑥c：その他」の〔 〕内に具体的な処理・処分方法を記入してください。

### Ⅳ 記入例

#### 採石業、砂利採取業における産業廃棄物排出・処理実績報告書

平成 年 月 日  
平成20年度の貴事業所での採石業、砂利採取業における事業概要と産業廃棄物の排出・処理状況について記入してください。

Ⅰ 事業所の概要				
事業所	名 称	〇〇興業㈱		
	代 表 者 氏 名	福島太郎		
	所 在	福島県福島県杉妻町2-16		
	電 話 番 号	0123-45-6789	従 業 者 数	50 人
	事 業 内 容	砂利採取業		
	採石・砂利採取場所の所在地	〇〇市 △△郡△△町 □□郡□□町		
記 入 者 部 課 ・ 氏 名	所属 △△管理部	氏名 福島花子		

Ⅱ 事業の概要		
平成20年度の事業実績	問1 採石・砂利採取事業の実績がありましたか	問2 採石又は砂利採取に伴い汚泥の発生がありましたか(採取現場で埋め戻されたものを含む)
	1:有り	1:有り

汚泥の発生有り  
汚泥の発生がない場合は、以降の記入不要です。

Ⅲ 採石業、砂利採取業から発生した汚泥の排出・処理状況			
問3	①汚泥が発生する採石・砂利採取場所の所在地を記入してください。(複数の場所であっても同一市町村内であれば区分する必要はありません)	〇〇市	△△郡△△町
	②平成20年度の1年間に発生量した汚泥量 ①の採汚泥が発生する採石・砂利採取場所ごとに記入してください。(発生量とは脱水、乾燥処理前の量です)	5,000 t/年	2,000 t/年
問4	③事業所内で発生した汚泥の脱水、乾燥処理された場合は、その方法を記入してください。		
	④脱水、乾燥処理された場合のみ記入 平成20年度の1年間に脱水、乾燥処理された処理量を記入してください。	5,000 t/年	2,000 t/年
	⑤脱水、乾燥処理された場合のみ記入 ④の処理により生じた脱水、乾燥処理後の汚泥量を記入してください。	1,500 t/年	800 t/年
問5	⑥発生量した汚泥(問4で脱水、乾燥処理を回答された場合は⑤の汚泥量)の処分方法ごとの数量を記入してください。		
	⑥a:採取場所への埋め戻し量	1,000 t/年	800 t/年
	⑥b:建設資材等への利用量。(他社への提供・販売を含む) ⑥c:その他量 〔 〕欄に具体的な処理・処分方法を記入してください。	500 t/年	t/年

### Ⅲ-4 市町村アンケート票

#### 廃棄物に関する意識調査票

【市町村用】

貴市町村名と担当者のお名前をご記入して下さい。

市町村名		
担当課名		記入者氏名

#### 分別収集・資源化について

問1 貴市町村で、以下の品目の中で分別収集している品目、もしくは資源化している品目に○を付けて下さい。

金属類		ガラス類		紙類				プラスチック類		その他						
スチール缶	アルミ缶	無色透明	茶色	紙パック	飲料用容器	紙製容器包装	段ボール	新聞紙	雑誌・チラシ	ペットボトル	容器包装	白色トレー	生ごみ	布・繊維類	蛍光灯	乾電池
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

この欄に○印を付けて下さい。

(注) 新聞紙と雑誌・チラシの2品目ではなく、雑誌を含む新聞紙として1品目で分別している場合でも、「新聞紙」及び「雑誌・チラシ」のそれぞれに○印を付けてください。

問1-ア 上記以外に資源ごみとして分別収集している、もしくは資源化している品目がありましたら枠の中にご記入下さい。

--

問1-イ 上記以外の品目で分別収集できない、もしくは上記の品目で資源化できない品目と理由について、品目欄に品目名を、理由欄に下記選択肢から該当する番号をご記入下さい。(複数選択していただいても結構です。)

品目	理由

問1-イの理由の選択肢 (複数選択可)

- 近隣にリサイクル業者がない。
- 収集に経費がかかる。
- 住民の協力が得られない。
- 資源化施設が整備されていない。
- その他 (具体的内容を理由の欄にご記入下さい)

#### 直接埋立について

問2 貴市町村で、中間処理施設を経由せずに直接最終処分場へ埋立しているごみはありますか。該当する番号に○を付けて下さい。(どちらか一つ)

- ( ) 1. 直接埋立している。 → 「問2-ア」、「問2-イ」、「問2-ウ」をご回答下さい。  
 ( ) 2. 直接埋立していない。

問2-ア 直接埋立しているのはどのようなごみですか。具体的な品目をご記入下さい。

例：蛍光灯、乾電池、消火器など

--

問2-イ 直接埋立している理由は何ですか。該当するすべての番号に○を付けて下さい。

- ( ) 1. 不燃ごみや粗大ごみを中間処理する施設がないため。  
 ( ) 2. 最終処分場に余裕があるため。  
 ( ) 3. 処理するとダイオキシン等の排出基準や環境基準を遵守できないため。  
 ( ) 4. 住民協定により処理できないごみがあるため。  
 ( ) 5. 特に理由はない。  
 ( ) 6. その他 (具体的内容をご記入下さい)

問2-ウ 貴市町村では、直接埋立に対して、今後はどのような取り組みをしますか (する予定ですか)。該当するすべての番号に○を付けて下さい。

- ( ) 1. 今後は、中間処理施設を整備して、直接埋立を行わない。(予定である。)  
 ( ) 2. 今後は、資源物を分別して、直接埋立を行わない。(予定である。)  
 ( ) 3. 既存の施設を利用して、できるだけ、直接埋立を行わない。  
 ( ) 4. 今後も継続して直接埋立を行う。  
 ( ) 5. 特になし。  
 ( ) 6. その他 (具体的内容をご記入下さい)

#### 減量化・資源化の計画・目標について

問3 貴市町村では、今後、一般廃棄物についての減量化・資源化に取り組む計画や目標を定めていますか。該当する番号に一つだけ○を付けて下さい。

- ( ) 1. 今後の廃棄物処理について、目標値を設定している。 → 問3-ア、問3-イをご回答下さい。  
 ( ) 2. 今後の廃棄物処理について、目標値を設定する予定である。 → 問3-ア、問3-イをご回答下さい。  
 ( ) 3. 今後の廃棄物処理について、目標値を設定していない。  
 ( ) 4. その他 (具体的内容をご記入下さい)

問3-ア 問3で「1」もしくは「2」と回答した市町村にお尋ねします。貴市町村の目標値はどのようなものですか。下表に貴市町村で目標値を設定した際の基準年度、目標年度を記載の上、各項目について設定値があればご記入下さい。

項目	年度		基準年度		目標年度			
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
ごみ総排出量		t		t		t		t
内訳	収集ごみ量	t	t	t	t	t	t	t
	直接搬入ごみ量	t	t	t	t	t	t	t
	集団回収量	t	t	t	t	t	t	t
1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日		g/人・日		g/人・日		g/人・日	
計画年度に対する割合	100%		%		%		%	
再生利用量		t		t		t		t
内訳	直接資源化量	t	t	t	t	t	t	t
	中間処理後の再生利用量	t	t	t	t	t	t	t
	集団回収量	t	t	t	t	t	t	t
計画年度に対する割合	100%		%		%		%	
リサイクル率		%		%		%		%
計画年度に対する割合	100%		%		%		%	
最終処分量		t		t		t		t
計画年度に対する割合	100%		%		%		%	

その他、上記以外に目標を定めている項目があれば、下表の項目欄にその内容を、基準年度、目標年度の欄には、その項目の基準、目標それぞれの内容(量的、割合など)を記入して下さい。

項目	年度		基準年度		目標年度			
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度

問3-イ 貴市町村で廃棄物の減量化・資源化に取り組んでいる施策及び今後取り組む予定の施策はどのようなものですか。該当するすべての番号に○を付けて下さい。

減量化・資源化の主な施策	現在、取り組んでいる施策	今後、取り組む予定の施策
① 住民への啓発活動		
② 生ごみの水切り徹底指導		
③ 集団回収の推進	→ 該当しない市町村等は「問3-ウ」へ回答して下さい。	
④ スーパー等の店頭回収の推進	→ 該当しない市町村等は「問3-エ」へ回答して下さい。	
⑤ 生ごみ処理機及びコンポスト容器の普及	→ 該当しない市町村等は「問3-オ」へ回答して下さい。	
⑥ 事業者への減量化指導		
⑦ 生活系ごみの有料化(の拡大)	→ 該当しない市町村等は「問3-カ」へ回答して下さい。	
⑧ 事業系ごみの多量排出事業者に対する指導		
⑨ 事業系ごみの有料化(の拡大)	→ 該当しない市町村等は「問3-キ」へ回答して下さい。	
⑩ 資源ごみの分別収集の徹底		
⑪ 資源ごみの分別収集の拡大		
⑫ 資源回収業者の利用拡大		
⑬ 粗大ごみの再使用・再生利用の推進		
その他	(上記以外の項目があれば具体的に記入下さい) 【取り組んでいる施策】	【今後取り組む予定の施策】

問3-ウ 集団回収を推進していない(出来ない)理由は何ですか。具体的内容をご記入下さい。

問3-エ 店頭回収を推進していない(出来ない)理由は何ですか。具体的内容をご記入下さい。

問3-オ 生ごみ処理機及びコンポスト容器の普及を推進していない(出来ない)理由は何ですか。具体的内容をご記入下さい。

問3-カ 生活系ごみの有料化を実施していない（出来ない）理由は何ですか。具体的内容をご記入下さい。

問3-キ 事業系ごみの有料化を実施していない（出来ない）理由は何ですか。具体的内容をご記入下さい。

し尿の処理計画について

問4 貴市町村での今後のし尿処理計画についてご記入下さい。下表の目標年度が異なる場合は、記載されている年度に二重線を引き、その年度をご記入下さい。

【生活排水処理形態別人口】

項目	年度	計 画 年 度		
		平成22年度	平成27年度	平成32年度
<b>非水洗化人口</b>				
内訳	計画収集人口	人	人	人
	自家処理人口	人	人	人
<b>水洗化人口</b>				
下水道人口		人	人	人
コミュニティプラント人口		人	人	人
浄化槽人口		人	人	人
単独浄化槽人口		人	人	人
農業漁業集落排水施設人口		人	人	人
合併処理浄化槽人口		人	人	人

【計画量】

項目	年度	計 画 年 度		
		平成22年度	平成27年度	平成32年度
<b>し尿及び浄化槽等汚泥量</b>				
収集し尿量		kl/年	kl/年	kl/年
単独処理浄化槽汚泥量		kl/年	kl/年	kl/年
合併処理浄化槽汚泥量		kl/年	kl/年	kl/年
農業漁業集落排水施設汚泥量		kl/年	kl/年	kl/年
コミュニティプラント汚泥量		kl/年	kl/年	kl/年

グリーン購入・環境マネジメントシステム認証取得の状況について

問5-ア 貴市町村における環境負荷の少ない製品（グリーン購入法<sup>\*1</sup>：環境ラベル等の特定調達物品）の利用状況について、該当する番号に一つだけ○を付けて下さい。

- ( ) 1. 庁内全体でグリーン購入を推進している。  
 ( ) 2. 庁内の一部（事務所等）でグリーン購入を推進している。  
 ( ) 3. 特にグリーン購入は推進していない。

※1：グリーン購入法

国では、製品やサービスを購入する際に、環境や必要性を考慮して環境への負荷ができるだけ少ないものを選んだり、企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことを目的としてグリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）を平成13年4月に施行しました。

問5-イ 貴市町村における環境マネジメントシステム（ISO14001規格）に対する取組について、該当する番号に一つだけ○を付けて下さい。

- ( ) 1. すでに認証を取得した。  
 ( ) 2. 認証を取得する予定である。  
 ( ) 3. 既に認証を取得しているが、今後取りやめ、独自のEMS（環境マネジメントシステム）を導入する予定である。  
 ( ) 3. 現在、情報収集している段階である。  
 ( ) 4. 特に何もしていない。  
 ( ) 5. その他（具体的内容をご記入下さい）

施設の現状について

問6 可燃ごみ処理施設の現状について 貴市町村における可燃ごみ処理施設の状況について、該当するすべての番号に○を付けて下さい。

- ( ) 1. 受入量にかなりの余裕があり、処理能力の範囲内で運転している。  
 ( ) 2. 受入量に若干の余裕があり、処理能力の範囲内で運転している。  
 ( ) 3. 受入量に余裕が無くなっているが、処理能力の範囲内で運転している。  
 ( ) 4. 処理能力の上限で運転している。  
 ( ) 5. 施設がないため、全部もしくは一部を他の市町村や他の組合へ委託処理している。  
 ( ) 6. 施設がないため、全部もしくは一部を民間業者へ委託処理している。  
 ( ) 7. わからない。  
 ( ) 8. その他（具体的内容をご記入下さい）

問7 現在の資源化施設（保管施設を含む）の状況について 貴市町村における資源ごみや粗大ごみの処理（保管）施設の状況について、該当するすべての番号に○を付けて下さい。

- ( ) 1. 受入量にかなりの余裕があり、処理能力の範囲内で運転している。  
 ( ) 2. 受入量に若干の余裕があり、処理能力の範囲内で運転している。  
 ( ) 3. 受入量に余裕が無くなっているが、処理能力の範囲内で運転している。  
 ( ) 4. 処理能力の上限で運転している。  
 ( ) 5. 施設がないため、全部もしくは一部を他の市町村や他の組合へ委託処理している。  
 ( ) 6. 施設がないため、全部もしくは一部を民間業者へ委託処理している。  
 ( ) 7. わからない。  
 ( ) 8. その他（具体的内容をご記入下さい）

**問8 最終処分場の現状について**

貴市町村における最終処分場の状況について、該当するすべての番号に○を付けて下さい。

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 処分場の残余容量にかなりの余裕がある。(残余年数が10年以上ある。)     |
| <input type="checkbox"/> 2. 処分場の残余容量に若干の余裕がある。(残余年数が5年以上10年未満である。) |
| <input type="checkbox"/> 3. 残余容量が少なくなっている。(残余年数が5年未満、もしくは数年しかない。)  |
| <input type="checkbox"/> 4. 残余容量にまったくの余裕が無い。                       |
| <input type="checkbox"/> 5. 全部もしくは一部を他の市町村や他の組合へ委託して処分している。        |
| <input type="checkbox"/> 6. 全部もしくは一部を民間業者へ委託処分している。                |
| <input type="checkbox"/> 7. わからない。                                 |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(具体的内容をご記入下さい)                      |

**産業廃棄物について**

**問9 企業等から排出される産業廃棄物の貴市町村等(一部事務組合を含む)保有処理施設(焼却施設等及び最終処分場)への受入実績について、該当する番号に一つだけ○を付けて下さい。**

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 受け入れたことがなく、今後も受け入れない。                       |
| <input type="checkbox"/> 2. 受け入れたことがないが、今後は受け入れる。 一問9-Aをご回答ください。        |
| <input type="checkbox"/> 3. 受け入れたことがあるが、今後は受け入れない。 一問9-A及び問9-Iをご回答ください。 |
| <input type="checkbox"/> 4. 受け入れたことがあり、今後も受け入れる。 一問9-A及び問9-Iをご回答ください。   |

**問9-A 「問9」で「2、3、4.」とお答えの場合、主な種類の番号に○を付けて下さい。**

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 廃プラスチック類           | <input type="checkbox"/> 2. 紙くず             |
| <input type="checkbox"/> 3. 建設業からの木くず          | <input type="checkbox"/> 4. がれき類(コンクリート片等)  |
| <input type="checkbox"/> 5. 製造業からの木くず          | <input type="checkbox"/> 6. 食料品製造業からの動植物性残さ |
| <input type="checkbox"/> 7. その他(具体的な種類をご記入下さい) |   |

**問9-I 「問9」で「3、4.」とお答えの場合、産業廃棄物の受入れにより貴市町村等で保有する施設の受入能力の負担となっていますか(負担になったことがありますか)。該当する番号に一つだけ○を付けて下さい。**

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 負担となっていない。    | <input type="checkbox"/> 2. 焼却施設の負担となっている。 |
| <input type="checkbox"/> 3. 処分場の負担となっている。 | <input type="checkbox"/> 4. わからない。         |

**県への要望等について**

廃棄物行政に対して、県への要望等がありましたら、ご記入下さい。

### Ⅲ-5 排出事業者アンケート票

#### 廃棄物等に係る意識調査票

本調査票も実績報告書と併せてご回答下さい。

<排出事業者向け>

事業者名 \_\_\_\_\_

#### 1. 廃棄物の処理・減量化・資源化について

##### 問1-1 発生抑制・リサイクルに対する取り組みについて

廃棄物の発生抑制、リサイクル等に対して、貴事業所ではどのような取り組みを行っていますか。Ⅰの中から該当する欄に○を付けてください（貴事業所の事業活動に当てはまらない取り組みについては空欄にしてください）。

取り組み	Ⅰ			Ⅱ 効果
	実施している	予定している	検討している	
1. 規格材の使用など廃材発生が少ない資材の採用				
2. ユニット工法など廃材発生が少ない工法の採用				
3. 廃棄物等の低減のための製造工程の改善				
4. 環境負荷の少ない原材料の使用による廃棄物の発生抑制				
5. リサイクルの容易化、処理の容易化、製品の長寿命化等を考慮した環境調和型製品の開発				
6. 再生資源の工事利用の促進				
7. 再生品、再生資源（原料）の利用の促進				
8. 産業廃棄物排出削減のための工程内発生廃棄物の有効利用の推進				
9. 発生廃棄物の分別・選別の徹底によるリサイクル等の推進				
10. 他産業又はグループ企業との再生資源の受入・供給によるリサイクルの推進				
11. 建設残土等の工事間利用				
12. 包装材・梱包材の使用量の削減				
13. 中間処理施設の設置・増設等による減量化の推進				
14. 発生廃棄物を燃料とした熱回収（ボイラー・発電等）				
15. その他（具体的に） [ _____ ]				

##### 問1-2 取り組みの効果について

問1-1で一つでも「実施している」と回答された方にお伺いします。実施した結果、どのような効果がありましたか。効果があった項目の「Ⅱ効果」欄に、下記より記号を選び記入して下さい。あまり効果がなかった項目は未記入で構いません。（複数回答可）

- A. 自社での廃棄物の発生量が低減した
- B. 自社で発生する廃棄物の再利用・再生利用が進んだ
- C. 自社で発生する廃棄物の最終処分量が低減した
- D. 納入先において自社製品の廃棄物化回避が進んだ
- E. 納入先からの使用済みや包装材等の回収ルートが確立できた
- F. 廃棄物の処理費用が削減できた
- G. 自社の環境問題への取り組みを社会に示すことができ、これが有利に作用した（環境に配慮した製品の開発によるPR効果や売上の向上など）
- H. 従業員等の法令知識の取得や意識の向上に効果があった

##### 問1-3 取り組むうえでの問題点について

貴社の取り組みを進める上で、問題となる点は何ですか。該当する全ての項目の（ ）内に○を付けてください。（複数回答可）

- ( ) 1. 発生抑制・リサイクルのための知識・情報・技術が不足している
- ( ) 2. コストがかかる
- ( ) 3. 再生品・再生資源の品質が悪い・安定しない
- ( ) 4. 再生品・再生資源の利用ルートが確立していない
- ( ) 5. 廃棄物の性状や事業特性から、発生抑制・リサイクルが困難・不可能
- ( ) 6. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

##### 問2 発生抑制・減量化・リサイクル等の目標値について

貴事業所では将来、産業廃棄物の発生量の抑制、減量化、リサイクル等をどの程度推進したいと考えていますか。平成20年度を100として、目標（計画）値を記入してください。なお、貴事業所独自の目標（計画）年度がある場合は、下記の年度に二重線を引き、その年度を記入してください。

（記入例）						
	20年度	26年度	31年度	20年度	26年度	31年度
発生量の抑制量	100			100	90	80
中間処理による減量化量※	100			100	105	105
リサイクルによる再資源化量	100			100	105	110
埋立処分量	100			100	90	80

※「減量化量」とは、中間処理により元の量から減少した分の量を指します。例えば、10kgの廃棄物を燃やし、後に残った灰が2kgだとすると、減量化量は8kgとなります。つまり、減量化が進めば、減量化量は増加することになります。

#### 2. 産業廃棄物の適正処理について

##### 問1 委託業者の選定方針について

貴事業所では、産業廃棄物の収集運搬、中間処理、最終処分（再生を含む）を業者に委託する場合、どのような基準で業者を選定していますか。該当する項目の（ ）内に○を付けてください。（複数回答可、2つまで）

- ( ) 1. 距離的に近いこと
- ( ) 2. 料金が安いこと
- ( ) 3. 優良評価制度に適合していること
- ( ) 4. 電子マニフェストを導入していること
- ( ) 5. 確実にリサイクルできること
- ( ) 6. 最終処分までのルートが明確であること
- ( ) 7. 公共が関与している処理施設であること
- ( ) 8. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

##### 問2 委託先の実地確認について

貴事業所では、産業廃棄物の中間処理、最終処分（再生を含む）を委託する業者の処理施設、処理能力等について、現地に直接出向くなどして確認していますか。該当する項目を一つ選び（ ）内に○を付けてください。

- ( ) 1. その業者と新たに契約する時及び契約期間中定期的に確認している
- ( ) 2. その業者と新たに契約する時のみ確認している
- ( ) 3. 写真、画像など別の手段で確認している
- ( ) 4. 確認したことはない
- ( ) 5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

### 3. 電子マニフェストシステムの利用状況について

貴事業所では「電子マニフェストシステム」を利用していますか。該当する項目を一つ選び○を付けてください。また、システムの利用を予定、又は検討している場合は、導入予定時期をご記入ください。

<input type="checkbox"/> 1. システムを利用している <input type="checkbox"/> 2. システムの利用を予定、又は検討している <input type="checkbox"/> 3. システムは利用しない <input type="checkbox"/> 4. システムを利用するか、利用しないかは、わからない <input type="checkbox"/> 5. 電子マニフェストシステムを知らない	導入予定時期：平成 年 月 日
---	-----------------

〔上記、設問で「3. システムは利用しない」を選択した場合の理由について、該当する全ての項目の( )内に○を付けてください〕

- 1. 排出量が少ない又は取引先が少ない
- 2. 取引先で導入されていない
- 3. 独自システムで管理している
- 4. コストの問題がある
- 5. その他

### 4. 公共関与について

○「公共関与」についての県の考え方

県では『福島県産業廃棄物処理計画』において、産業廃棄物施設の設置については「民間による整備を基本」としていますが、「民間施設の設置が困難で不足している地域、分野については、その不足を補い産業廃棄物の適正処理を確保するために、公共（県）が関与して管理型最終処分場等の処理施設の整備を行う」としてあります。

問1 産業廃棄物処理を取り巻く現状等を踏まえ、県の「公共関与」のあり方についてどのようにお考えですか。該当する項目を一つ選び( )内に○を付けてください。(どれか1つ)

<input type="checkbox"/> 1. これまでどおり、「公共関与」（処理施設の整備）を行うこととするべきである →問2-1へ <input type="checkbox"/> 2. これまでの「公共関与」のあり方は見直すべきである →問2-2へ <input type="checkbox"/> 3. よくわからない、どちらでもよい <input type="checkbox"/> 4. その他（具体的に）
--

問2-1 問1で「1」を選択された方にお聞きします。「公共関与」を行うべきとお考えになる理由は何ですか。該当する項目の( )内に○を付けてください。(複数回答可、2つまで)

<input type="checkbox"/> 1. 県内における民間の最終処分場の残余容量が不安なため <input type="checkbox"/> 2. 地域住民の反対が強く民間では産廃処理施設の整備が困難なため <input type="checkbox"/> 3. 必要な場所（近隣）に民間の産廃処理施設がないため <input type="checkbox"/> 4. その他（具体的に）
---

問2-2 問1で「2」を選択された方にお聞きします。「公共関与」のあり方をどのように見直せば良いとお考えですか。該当する項目を一つ選び( )内に○を付けてください。

<input type="checkbox"/> 1. これまでより積極的に「公共関与」による処理施設整備を行うべき ※「公共関与」では、特にどのような処理施設を積極的に整備すべきと考えますか 該当する項目に○を付けてください。(どれか1つ) <input type="checkbox"/> 7 管理型最終処分場 <input type="checkbox"/> I 安定型最終処分場 <input type="checkbox"/> U 遮断型最終処分場 <input type="checkbox"/> E 中間処理施設
<input type="checkbox"/> 2. 県は、自ら施設整備に関与しないで民間による施設の整備促進を図るべき ※どのような民間施設の整備促進を図るべきと考えますか(どれか1つ) <input type="checkbox"/> 7 優良な処理施設 <input type="checkbox"/> I 産廃の発生抑制や再資源化につながる施設
<input type="checkbox"/> 3. 公共関与による施設整備を行うべきでない ※その理由は(どれか1つ) <input type="checkbox"/> 7 公共による施設整備は産廃処分にかかる市場メカニズムの適正化を阻害するから <input type="checkbox"/> I 産廃は減少しているので新たな施設整備の必要はないから <input type="checkbox"/> U 公共関与による施設整備は処理施設の過剰供給につながり、産廃排出量の増加を促す恐れがあるから
<input type="checkbox"/> 4. その他（具体的に）

### 5. 産業廃棄物税について

○産業廃棄物税とは

本県では、平成18年4月1日より、県内の最終処分場に産業廃棄物を搬入する量に対して課税する「産業廃棄物税」（法定外目的税）を導入しています。事業者の皆様から納めていただいたこの税を活用して、産業廃棄物の発生抑制や減量化・リサイクル推進・適正処理の促進に役立つ各種事業や県民の廃棄物への理解を深めるための環境教育事業などを展開しています。

問1 本県における産業廃棄物税の導入効果について

(1) 産業廃棄物税制度導入による産業廃棄物の排出抑制、減量化、リサイクルについて 貴事業所では産業廃棄物税制度の導入によって、産業廃棄物の排出抑制、減量化、リサイクル等が促進されましたか。該当する全ての項目の( )内に○を付けてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 1. 排出抑制が促進された <input type="checkbox"/> 2. 自社内での中間処理による減量化が促進された <input type="checkbox"/> 3. 自社内での再利用、リサイクルが促進された <input type="checkbox"/> 4. 委託先の選定により減量化・再生利用が促進された <input type="checkbox"/> 5. 特に促進はされなかった
---

(2) 産業廃棄物税制度導入後の産業廃棄物の最終処分量について 貴事業所では産業廃棄物税制度の導入後、自社処分又は委託による埋立処分量（最終処分量）は変化しましたか。該当する項目を一つ選び( )内に○を付けてください。

<input type="checkbox"/> 1. 埋立処分量の削減のための取組みにより、埋立処分量が削減した <input type="checkbox"/> 2. 埋立処分をしていない <input type="checkbox"/> 3. 従来から埋立処分量が少ないため、ほとんど変化はない <input type="checkbox"/> 4. 従来から埋立処分量が多いが、ほとんど変化はない <input type="checkbox"/> 5. 埋立処分量が増加した（理由：） <input type="checkbox"/> 6. その他（理由：）
--

(3) 貴事業所では税制導入によって、処理コストや減量化・リサイクル等に対する社員の意識にどのような影響(効果)がありましたか。該当する項目を一つ選び( )内に○をつけてください。

- 1. 埋立処分等の抑制により、結果的には処理コスト削減につながった
- 2. 社員の意識改革につながったが、処理コスト削減までには至らなかった
- 3. 社員の意識改革につながったが、処理コストが増えた
- 4. ほとんど影響(効果)はなかった

## 問2 産業廃棄物税の使途について

産業廃棄物税の税収を活用した取組みとして、どのような事業が望ましいと思われますか。該当する項目の( )内に○をつけてください。(3つまで複数回答可)

- 1. 排出抑制・減量化・リサイクル効果が高い施設整備等への支援
- 2. 排出抑制・減量化・リサイクル等の促進のための技術開発への支援
- 3. リサイクル製品の認定や普及・利用促進
- 4. 処分場等の周辺環境に対する影響調査、監視・指導
- 5. 産業廃棄物に関する環境教育、広報活動
- 6. 不法投棄防止対策
- 7. 排出事業者等に対する適正処理の普及・啓発
- 8. その他新たな活用方法(具体的に )

## 6. 県の産業廃棄物施策について

福島県では、廃棄物処理計画に掲げる目標達成のため、様々な施策に取り組んでいます。今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。該当する項目の( )内に○をつけてください。(3つまで複数回答可)

- 1. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進めるための仕組みづくり
- 2. 産廃の適正な処理のための、排出者や処理業者への監視や指導
- 3. 不法投棄や野焼きなどの不適正な処理への対処や厳しい取締り
- 4. 優良な産廃処理業者の支援や育成
- 5. 産廃処理施設から発生する有害物質等を減らすための取組み
- 6. 地域で発生したものは地域で処理する仕組みづくり
- 7. 産廃処理施設を設置する際の適切な指導
- 8. 産廃に対する県民の理解と知識を深めるための啓発活動
- 9. その他( )

## 7. その他

産業廃棄物に関するご意見をご自由にお書きください。書ききれない場合は、裏面もお使いください。

例：県の施策に関する提案、産業廃棄物税制度や税充当事業の周知方法などへの意見、など

福島県の取り組みについては、県のホームページでもご覧いただけます。

- ・産業廃棄物の施策関係：生活環境部産業廃棄物課 <http://www.pref.fukushima.jp/recycle/>
- ・産業廃棄物税制度関係：生活環境部生活環境総務課 <http://www.pref.fukushima.jp/keminkikaku/>

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

### Ⅲ-6 産業廃棄物処理業者アンケート票

#### 廃棄物等に係る意識調査票

本調査票も実績報告書と併せてご回答下さい。

<収集運搬、中間処理、最終処分業者向け>

業者名 \_\_\_\_\_

本調査票のご回答については、福島県（いわき市、郡山市を含む。）の産業廃棄物の業の許可の状況から該当する設問にご回答ください（下記表にて〇がついている設問となります）。なお、複数の許可を有する場合は、該当する全ての設問にご回答ください。

業の種類	設問							
	1	2	3	4	5	6	7	8
収集運搬	○			○	○		○	○
中間処理	○	○	○	○	○	○	○	○
最終処分	○	○		○	○		○	○

#### 1. 各種制度の利用状況について（回答対象：全事業者）

##### (1) 電子マニフェストシステムの利用状況について

貴事業所では「電子マニフェストシステム」を利用していますか。該当する項目を一つ選び〇を付けてください。また、「2」を選択した場合は導入予定時期を、「3」を選択した場合は利用しない理由をご回答ください。

1. システムを利用している  
 2. システムの利用を予定、又は検討している → 導入予定時期：平成 年 月 日  
 3. システムは利用しない  
 4. システムを利用するか、利用しないかは、わからない  
 5. 電子マニフェストシステムを知らない

〔システムを利用しない理由について、該当する全ての項目の（ ）内に〇を付けてください〕

1. 受注量が少ない、又は取引先が少ない  
 2. 取引先で導入されていない  
 3. 独自システムで管理している  
 4. コストの問題がある  
 5. その他（理由： \_\_\_\_\_）

##### (2) 優良性評価制度の利用状況について

貴事業所では「産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度（優良性評価制度）」の適合確認を受けていますか。該当する項目を一つ選び〇を付けてください。また、「2」を選択した場合は導入予定時期を、「3」を選択した場合は利用しない理由をご回答ください。

1. 適合確認を受けている  
 2. 適合確認を受けることを予定、又は検討している → 導入予定時期：平成 年 月 日  
 3. 制度は利用しない  
 4. 制度を利用するか、利用しないかは、わからない  
 5. 優良性評価制度を知らない

〔制度を利用しない理由について、該当する全ての項目の（ ）内に〇を付けてください〕

1. メリットが少ない  
 2. 手続きが面倒  
 3. コストの問題がある  
 4. その他（理由： \_\_\_\_\_）

#### 2. 事業の将来的な方針について（回答対象：中間処理・最終処分業者）

##### (1) 県外廃棄物の受入について

貴事業所における県外からの廃棄物の受入に関して、該当する項目に〇を付けてください。なお、福島県（いわき市、郡山市を含む）において中間処理及び最終処分の両方の許可を有する場合は、それぞれについてご回答ください。

	中間処理業	最終処分業
1) 県外物を受け入れていますか	<input type="checkbox"/> 1. 受け入れていない →3) を回答 <input type="checkbox"/> 2. 受け入れている →2), 3) を回答	<input type="checkbox"/> 1. 受け入れていない →3) を回答 <input type="checkbox"/> 2. 受け入れている →2), 3) を回答
2) 県外物の受入割合はいくらですか	平成 20 年度実績 県外物の占める割合 _____ %	平成 20 年度実績 県外物の占める割合 _____ %
3) 県外物の受入について、今後のお考えと、その理由をご記入ください	<input type="checkbox"/> 1. 受入を減らしたい・止めたい <input type="checkbox"/> 2. 受入を増やしたい・始めたい <input type="checkbox"/> 3. 今までと変わらない 上記の理由	<input type="checkbox"/> 1. 受入を減らしたい・止めたい <input type="checkbox"/> 2. 受入を増やしたい・始めたい <input type="checkbox"/> 3. 今までと変わらない 上記の理由

##### (2) 産業廃棄物処理施設の整備について

福島県内（郡山市、いわき市を含む）における産業廃棄物処理施設の新增設の予定について、該当する全ての項目に〇を付けてください。また、「予定の有無」で「1」「2」を選択した場合は、予定の内容についてもご回答ください。

施設の種類	予定の有無	予定の内容
焼却施設	<input type="checkbox"/> 1. 新設の予定が有る <input type="checkbox"/> 2. 増設の予定が有る <input type="checkbox"/> 3. 新增設の予定は無い	1) 施設整備の計画 <input type="checkbox"/> 1. 具体的な計画が有る <input type="checkbox"/> 2. 具体的な計画はまだ無い 2) 予定している時期：平成 年 月 日
焼却施設以外の中間処理施設	<input type="checkbox"/> 1. 新設の予定が有る <input type="checkbox"/> 2. 増設の予定が有る <input type="checkbox"/> 3. 新增設の予定は無い	1) 施設整備の計画 <input type="checkbox"/> 1. 具体的な計画が有る <input type="checkbox"/> 2. 具体的な計画はまだ無い 2) 施設の種類の（具体的に記入してください。） 3) 予定している時期：平成 年 月 日
最終処分場	<input type="checkbox"/> 1. 新設の予定が有る <input type="checkbox"/> 2. 増設の予定が有る <input type="checkbox"/> 3. 新增設の予定は無い	1) 施設整備の計画 <input type="checkbox"/> 1. 具体的な計画が有る <input type="checkbox"/> 2. 具体的な計画はまだ無い 2) 施設の種類の <input type="checkbox"/> 1. 遮断型処分場 <input type="checkbox"/> 2. 管理型処分場 <input type="checkbox"/> 3. 安定型処分場 <input type="checkbox"/> 4. 検討中 3) 予定している時期：平成 年 月 日

### 3. 産業廃棄物の再使用・再生利用について（回答対象：中間処理）

貴事業所では、受託した産業廃棄物の再使用・再生利用を行っていますか。該当する番号に○を付けてください。また、「1」を選んだ場合は、20年度の量を100として、将来の計画（目標）値を記入してください。（※再使用・再生利用とは、自社において再使用・再生利用する場合の他、中間処理したものを他社で再使用・再生利用する場合を含みます。）

1. 再使用・再生利用を行っている  
 2. 現在は行っていないが、行う予定である・行いたい  
 3. 現在行っておらず、今後も行う予定はない  
 4. よくわからない、どちらでもよい  
 5. その他（具体的に）

	20年度	26年度	31年度
再使用・再生利用量	100		

※貴事業所独自の計画（目標）年度がある場合は、上記年度に二重線を引き、その年度を記入してください。

### 4. 産業廃棄物処理等における問題点について（回答対象：全事業者）

貴社（貴方）における産業廃棄物の処理等について、現在何らかの問題はありますか。該当する番号に○を付けてください。また、問題がある場合は、その問題について、該当する全ての項目に○を付けてください。

1. 現在のところ特に問題はない  
 2. 現在、問題を抱えている

- 「問題点について、該当する項目の全てに○を付けてください」
1. 排出される産業廃棄物の分別が徹底されていない  
 2. 排出事業者に、マニフェストの重要性が認識されていない  
 3. 処理コストに見合う適正な料金を排出事業者から徴収できない  
 4. 産業廃棄物の受入量が減少している  
 5. 産業廃棄物の処理について、地域住民の理解が得られない  
 6. 施設の新増設を考えているが、用地を確保できない  
 7. その他（具体的に）

### 5. 公共関与について（回答対象：全事業者）

○「公共関与」についての県の考え方

県では『福島県産業廃棄物処理計画』において、産業廃棄物施設の設置については「民間による整備を基本」としていますが、「民間施設の設置が困難で不足している地域、分野については、その不足を補い産業廃棄物の適正処理を確保するために、公共（県）が関与して管理型最終処分場等の処理施設の整備を行う」としています。

(1) 産業廃棄物処理を取り巻く現状等を踏まえ、県の「公共関与」のあり方についてどのようにお考えですか。該当する項目を一つ選び（ ）内に○を付けてください。（どれか1つ）

1. これまでどおり、「公共関与」（処理施設の整備）を行うこととするべきである → (2-1)へ  
 2. これまでの「公共関与」のあり方は見直すべきである → (2-2)へ  
 3. よくわからない、どちらでもよい  
 4. その他（具体的に）

(2-1) (1)で「1」を選択された方にお聞きします。「公共関与」を行うべきとお考えになる理由は何ですか。該当する項目の（ ）内に○を付けてください。（複数回答可、2つまで）

1. 県内における民間の最終処分場の残余容量が不安なため  
 2. 地域住民の反対が強く民間では産廃処理施設の整備が困難なため  
 3. 必要な場所（近隣）に民間の産廃処理施設がないため  
 4. その他（具体的に）

(2-2) (1)で「2」を選択された方にお聞きします。「公共関与」のあり方をどのように見直せば良いとお考えですか。該当する項目を一つ選び（ ）内に○を付けてください。

1. これまでより積極的に「公共関与」による処理施設整備を行うべき  
 ※「公共関与」では、特にどのような処理施設を積極的に整備すべきと考えますか  
 該当する項目に○を付けてください。（どれか1つ）  
 7 管理型最終処分場  I 安定型最終処分場  
 U 遮断型最終処分場  E 中間処理施設  
 2. 県は、自ら施設整備に関与しないで民間による施設の整備促進を図るべき  
 ※ どのような民間施設の整備促進を図るべきと考えますか（どちらか1つ）  
 7 優良な処理施設  
 I 産廃の発生抑制や再資源化につながる施設  
 3. 公共関与による施設整備を行うべきでない  
 ※ その理由は（どれか1つ）  
 7 公共による施設整備は産廃処分にかかる市場メカニズムの適正化を阻害するから  
 I 産廃は減少しているため新たな施設整備の必要はないから  
 U 公共関与による施設整備は処理施設の過剰供給につながり、産廃排出量の増加を促す恐れがあるから  
 4. その他（具体的に）

### 6. 産業廃棄物税について（回答対象：中間処理業者）

○産業廃棄物税とは

本県では、平成18年4月1日より、県内の最終処分場に産業廃棄物を搬入する量に対して課税する「産業廃棄物税」（法定外目的税）を導入しています。事業者の皆様から納めていただいたこの税を活用して、産業廃棄物の発生抑制や減量化・リサイクル推進・適正処理の促進に役立つ各種事業や県民の廃棄物への理解を深めるための環境教育事業などを展開しています。

(1) 本県における産業廃棄物税の導入効果について

(1-1) 産業廃棄物税制度導入による産業廃棄物の排出抑制、減量化、リサイクルについて 貴事業所では産業廃棄物税制度の導入によって、産業廃棄物の排出抑制、減量化、リサイクル等が促進されましたか。該当する全ての項目の（ ）内に○をつけてください。（複数回答可）

1. 排出抑制が促進された  
 2. 自社内での中間処理による減量化が促進された  
 3. 自社内での再利用、リサイクルが促進された  
 4. 委託先の選定により減量化・再生利用が促進された  
 5. 特に促進はされなかった

(1-2) 産業廃棄物税制度導入後の産業廃棄物の最終処分量について

貴事業所では産業廃棄物税制度の導入後、自社処分又は委託による埋立処分量（最終処分量）は変化しましたか。該当する項目を一つ選び（ ）内に○をつけてください。

- 1. 埋立処分量の削減のための取組みにより、埋立処分量が削減した
- 2. 埋立処分をしていない
- 3. 従来から埋立処分量が少ないため、ほとんど変化はない
- 4. 従来から埋立処分量が多いが、ほとんど変化はない
- 5. 埋立処分量が増加した（理由： \_\_\_\_\_）
- 6. その他（理由： \_\_\_\_\_）

(1-3) 貴事業所では税制度の導入によって、処理コストや減量化・リサイクル等に対する社員の意識ごどのような影響（効果）がありましたか。該当する項目を一つ選び（ ）内に○をつけてください。

- 1. 埋立処分等の抑制により、結果的には処理コスト削減につながった
- 2. 社員の意識改革につながったが、処理コスト削減までには至らなかった
- 3. 社員の意識改革につながったが、処理コストが増えた
- 4. ほとんど影響（効果）はなかった

(2) 産業廃棄物税の使途について

産業廃棄物税の税収を活用した取組みとして、どのような事業が望ましいと思われますか。該当する項目の（ ）内に○をつけてください。（3つまで複数回答可）

- 1. 排出抑制・減量化・リサイクル効果が高い施設整備等への支援
- 2. 排出抑制・減量化・リサイクル等の促進のための技術開発への支援
- 3. リサイクル製品の認定や普及・利用促進
- 4. 処分場等の周辺環境に対する影響調査、監視・指導
- 5. 産業廃棄物に関する環境教育、広報活動
- 6. 不法投棄防止対策
- 7. 排出事業者等に対する適正処理の普及・啓発
- 8. その他新たな活用方法（具体的に \_\_\_\_\_）

7. 県の産業廃棄物施策について（対象：全事業者）

福島県では、廃棄物処理計画に掲げる目標達成のため、様々な施策に取り組んでいます。今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。該当する項目の（ ）内に○をつけてください。（3つまで複数回答可）

- 1. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進めるための仕組みづくり
- 2. 産廃の適正な処理のための、排出者や処理業者への監視や指導
- 3. 不法投棄や野焼きなどの不適正な処理への対処や厳しい取締り
- 4. 優良な産廃処理業者の支援や育成
- 5. 産廃処理施設から発生する有害物質等を減らすための取組み
- 6. 地域で発生したものは地域で処理する仕組みづくり
- 7. 産廃処理施設を設置する際の適切な指導
- 8. 産廃に対する県民の理解と知識を深めるための啓発活動
- 9. その他（ \_\_\_\_\_）

8. その他（対象：全事業者）

産業廃棄物に関するご意見をご自由にお書きください。

例：県の施策に関する提案、産業廃棄物税制度や税充当事業の周知方法などへの意見、など

福島県の取り組みについては、県のホームページでもご覧いただけます。  
・産業廃棄物の施策関係：生活環境部産業廃棄物課 <http://www.pref.fukushima.jp/recycle/>  
・産業廃棄物税制度関係：生活環境部生活環境総務課 <http://www.pref.fukushima.jp/kenminkikaku/>

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。